Panasonic

DVD/CD プレーヤー
取扱説明書

品番 DVD-H1000



このたびは、DVD/CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■製造番号（製品本体後面に表示）は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。

保証書別添付　**上手に使って上手に節電**









この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

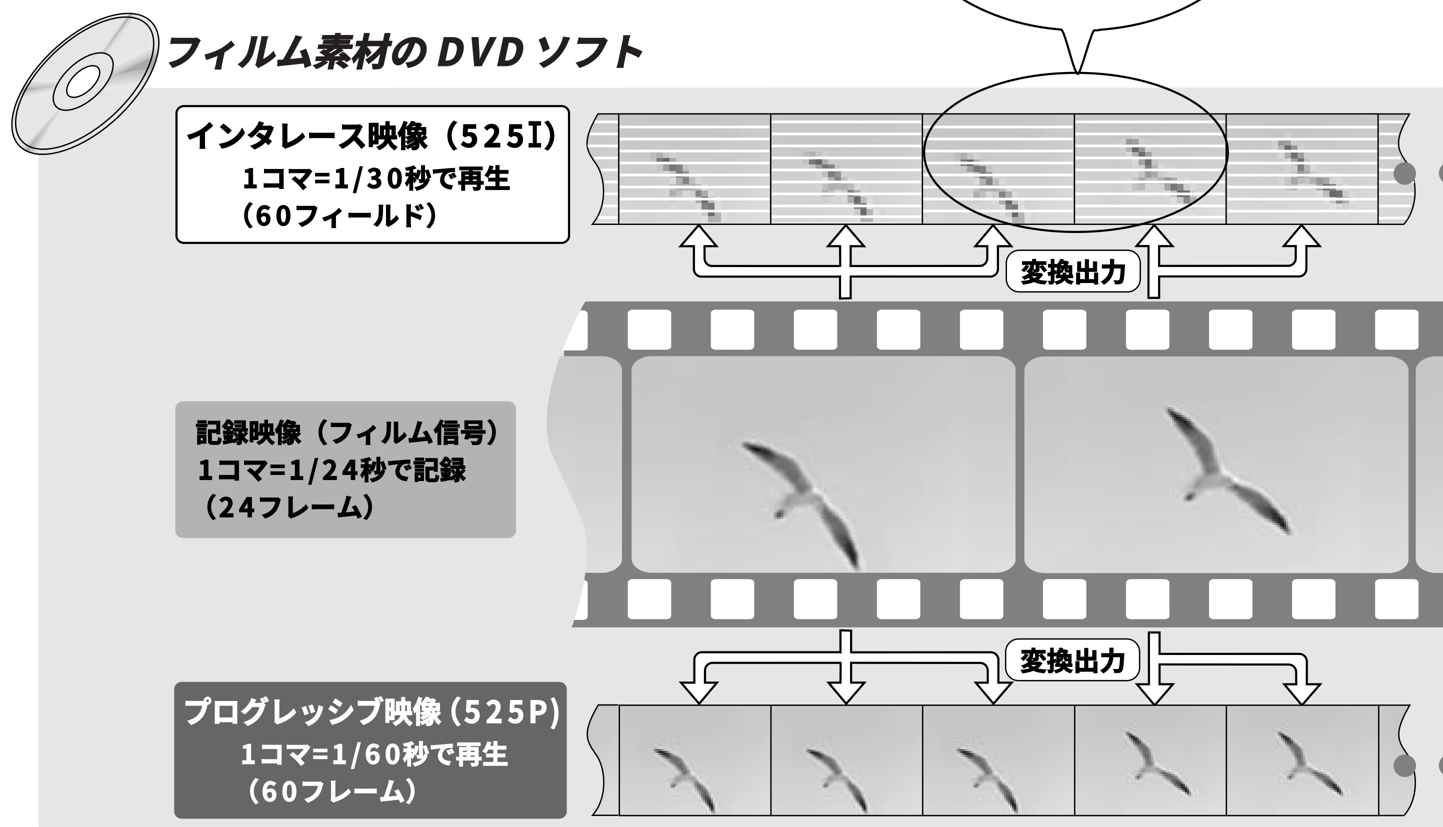
VQT7721-2

特長

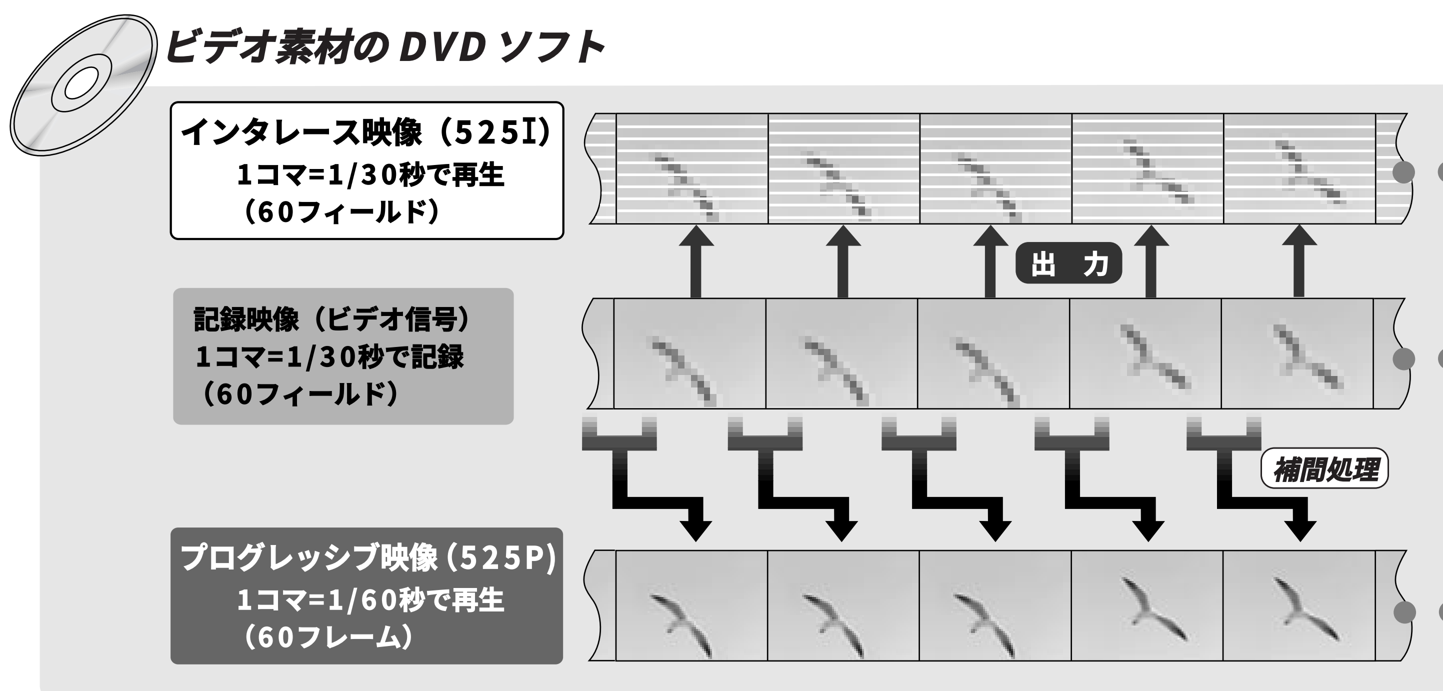
プログレッシブビデオプロセッサー搭載。ますます高画質に！

DVDソフトの種類※1は、一般的にフィルム素材（フィルム映像を24コマ／秒で記録）とビデオ素材（映像情報を30コマ／秒で記録）の2種類があり、本機のプログレッシブ出力では、どちらの素材でも、ちらつきの少ない、高密度な映像を再現します。

フィルム素材のDVDソフト



ビデオ素材のDVDソフト



※1　DVDソフトのなかには、フィルム素材とビデオ素材とが混在して記録されたものもあります。

※2 **インタレース出力の場合**



1/60秒で映し出される映像
（走査線：262.5本の場合）

※3 **プログレッシブ出力の場合**



1/60秒で映し出される映像
（走査線：525本の場合）

従来方式では…

フィールドごとに 1/60 秒かけて 262.5 本の走査を行い、1 フレームの画像（525 本の走査）をつくります。実際の映像では、2 フィールドを交互に映し出してフレーム化していくので、画面上で走査線が目立ってしまいます。また、出力の際に異なる絵のフィールドがまじりあうので、映像は、輪郭がはっきりせず、ちらつきの原因になります。

1/24 秒ごとに撮像されたフィルム映像を信号化して、記録した情報です。映画フィルムをそのまま信号化したものなので、画質は良く、この情報を含む DVD ソフトを一般に「フィルム素材の DVD ソフト」といいます。

本機でプログレッシブ出力した場合は、

1 フィールド =1 フレーム出力（525 本の走査）するので、インタレース映像と比べると 1 コマの持つ映像情報量が多く、高密度かつ鮮明な画像で、走査線は目立ちません。
また、異なる絵のフィールドがまじりあうこともないので、輪郭が鮮明でなめらかです。**(DIRECT CINEMA PROGRESSIVE)**（ダイレクト シネマ プログレッシブ）

従来方式では…

ビデオ信号からインタレース信号へと変換し、フィールドごとに 1/60 秒かけて 262.5 本の走査を行います。2 フィールドを交互に映し出し、1 フレームの画像（525 本の走査）をつくります。

映像情報がインタレース信号として記録されている情報です。この情報だけを含む DVD ソフトを一般に「ビデオ素材の DVD ソフト」といいます。

本機でプログレッシブ出力した場合は、

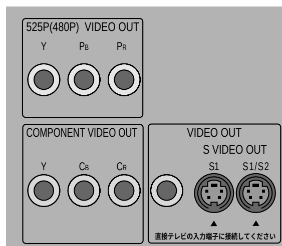
フィルター処理によって、同一フィールド内の上下の走査線の情報や、前フィールドの情報などから、緻密な画像をつくり出すための最適な補間情報を割り出し、１フィールド = １フレーム出力（525 本の走査）します。インタレース映像と比べると、高密度かつ鮮明で、走査線は目立ちません。

※概念図

特 長（つづき）

■豊富な映像端子で各種モニターに対応

プログレッシブ映像出力は、ハイビジョンテレビ、3管式プロジェクターなど、525P（480P）映像入力可能なモニター環境に適合します。また、従来のインタレース信号接続のためのコンポーネント映像出力端子、S映像出力端子、ビデオ出力端子も装備しています。



■ドルビーデジタル（AC-3）／dts（digital theater systems）デジタル出力（☞23ページ）

3系統のデジタルオーディオ出力（同軸×2、光×1）を装備。本格的なドルビーデジタル5.1chサラウンドシステムの構築はもちろん、複数システムへの同時接続が可能。また、dtsビットストリーム出力にも対応しているので、dts信号が記録されたディスクでは、dtsデコーダーまたは、dtsデコーダー内蔵アンプと組み合わせると、高音質5.1chデジタルサラウンドサウンドが楽しめます。

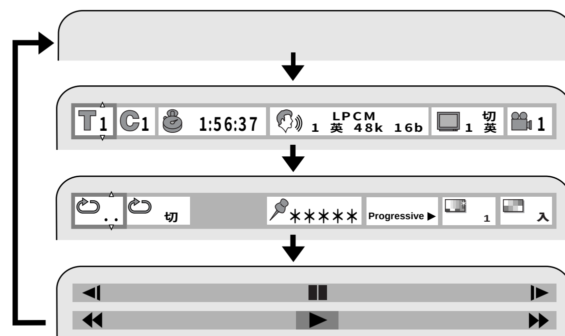
■高音質／高画質化へのこだわり

- **オーディオ専用大型Rコアトランス採用**
  電源トランスからの磁束漏洩を抑え、オーディオ回路へクリーンな電流を供給する大型Rコアトランス。高域でのノイズ発生を抑え、歪みのない高域と厚みのある低域を獲得します。
- **96 kHz/24 bitマルチビットD/Aコンバーター**
  96 kHz/24 bitマルチビットD/AコンバーターがL/R独立に2個搭載されています。48 kHz/16 bitからDVD（video）の音声規格の最上位である96 kHz/24 bitに至るまで、全てのリニアPCM信号を高精度にアナログ変換します。
- **2次元シャープニングフィルター方式採用**
  プログレッシブ変換した画像の微小信号を水平のみならず、垂直方向にも補正し、画像のボケ感を抑え、細部にわたるシャープな映像を実現します。
- **アルミダイキャスト製シャーシ**
  シャーシ部に、非磁性で電気抵抗が低い、高剛性と重量感を備えたアルミダイキャストを使用。肉厚の複合ボックス構造をなす本体シャーシ部は、音の濁りの原因となる不要振動を極限まで抑え込み、純度の高いオーディオ再生、ビデオ再生を約束します。また内部回路を電気的､磁気的干渉から守り､ピックアップの読み取り精度向上にも貢献しています。

■グラフィカルユーザーインターフェース（GUI）画面（☞28ページ）

リモコンの画面表示ボタンを押すことで、本機に関する情報やディスクの情報を、わかりやすくテレビ画面上に表示します。テレビ画面を見ながらリモコンのジョイスティックを操作することで、本機の操作や設定が簡単にできます。

例）DVDの場合

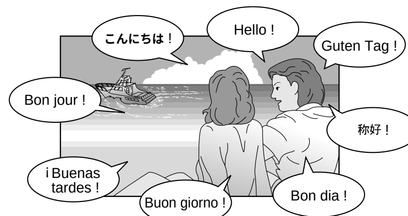


■マーカー機能（☞31ページ）

見たい（聞きたい）箇所を最大5ヵ所まで記憶できるので、好きなときに見たい（聞きたい）箇所を楽しむことができます。

■DVDが実現する多彩な機能

- **マルチ音声機能（☞36ページ）**
  最大8ヵ国語の音声言語から、お好みの音声言語に切り換えて楽しむことができます。
  （音声言語数は、DVDソフトにより異なります）



- **マルチ字幕機能（☞37ページ）**
  最大32ヵ国語の字幕言語から、お好みの字幕言語に切り換えて楽しむことができます。（字幕言語数は、DVDソフトにより異なります）



- **マルチアングル機能（☞37ページ）**
  見たいアングル（角度）に変えて楽しむことができます。（複数のアングルが記録されているDVDソフトに限ります）
- **視聴制限機能（☞44ページ）**
  お子様などに見せたくないDVDソフトを再生できなくすることができます。

本機で再生できるディスクについて

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ	最大記録時間
DVD	DVD VIDEO	音声＋映像	12 cm	片面ディスク 約 240 分
				両面ディスク 約 480 分
			8 cm	片面ディスク 約 80 分
				両面ディスク 約 160 分
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声＋映像	12 cm	74 分
			8 cm	20 分
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12 cm	74 分
			8 cm	20 分

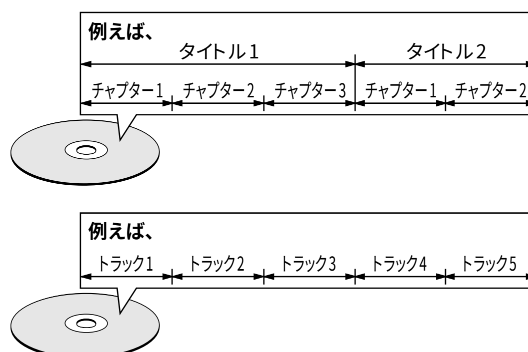
お知らせ

■下記のディスクは再生できません。
- リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD
- PAL 方式で記録されたディスク
- DVD-ROM
- DVD-R/DVD-RAM
- CD-ROM
- VSD
- CDV
- CD-G
- CD-RW
- DVD+RW
- CVD
- SVCD
- CD-R、フォト CD（**絶対に再生しないでください。ディスクの内容が壊れるおそれがあります**）

など

用語解説

- **タイトル、チャプター（DVD）**
  DVD は、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。
  それぞれの区切りには、番号が割り当てられ、これらの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。
- **トラック（ビデオ CD ／音楽 CD）**
  ビデオ CD や音楽 CD は、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。
  この区切りには、番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。



- **プレイバックコントロール（ビデオ CD）**
  「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオ CD は、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
  本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオ CD の " **メニュー再生** " と呼びます。
  本機はプレイバックコントロール付きビデオ CD に対応しています。



本機は、国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）が DVD ディスクに表示されている場合には、DVD ディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は 2 です。

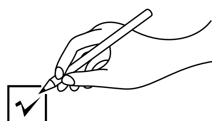
■本書（25 ～ 39 ページ）では、次の記号を使用しています。

DVD … DVD で楽しめる機能を紹介しています。

VCD … ビデオ CD で楽しめる機能を紹介しています。

CD … 音楽 CD で楽しめる機能を紹介しています。

付属品のご確認

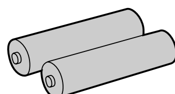


必ず確かめてください。

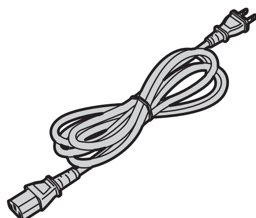
☐ **リモコン**



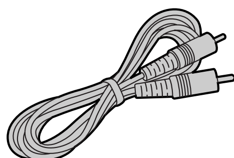
☐ **リモコン用乾電池（2 本）**
単 3 形（R6P）



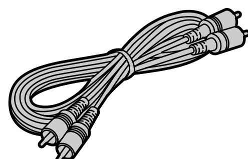
☐ **電源コード**



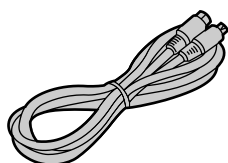
☐ **映像コード**



☐ **音声コード**



☐ **S 映像コード**



もくじ

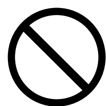
安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	**警告**	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
	**注意**	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

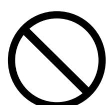
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

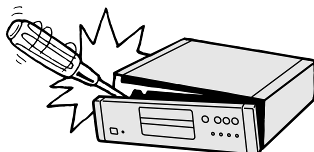
☞8～10ページのイラストは、イメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

 警告

本機の分解や改造は絶対にしない（本体カバーを外すなど）

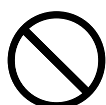


分解禁止

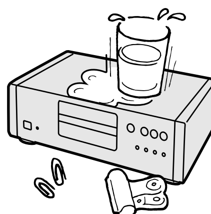


火災や感電の原因になります。
●修理は販売店にご相談ください。

本機上面や近くに液体容器や金属物を置かない

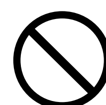


禁止

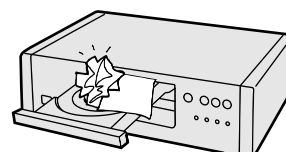


本機の内部に入り、火災や感電の原因になります。

本機の内部に金属物や燃えやすいものを入れない



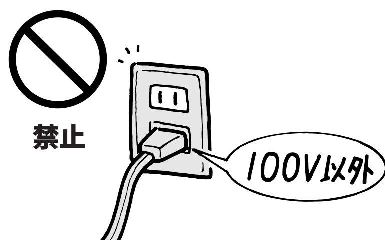
禁止



火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

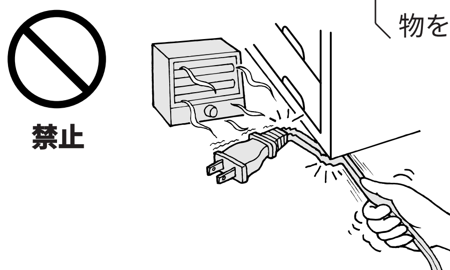
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流１００Ｖ以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

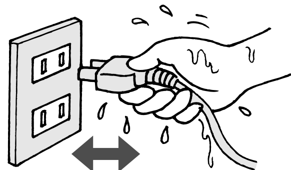
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

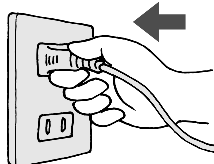




感電の原因になります。

電源プラグは根本まで確実に差し込む

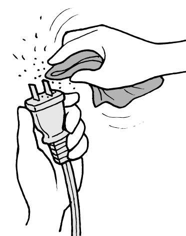




差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

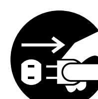
電源プラグのほこり等は定期的にとる

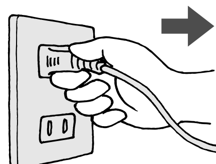




プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

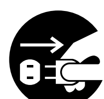
落としたりして破損したら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

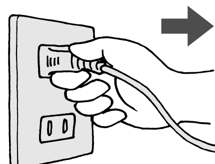




そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

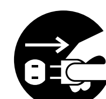
液体、異物などが内部に入ったら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

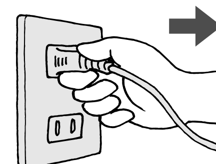




そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

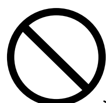


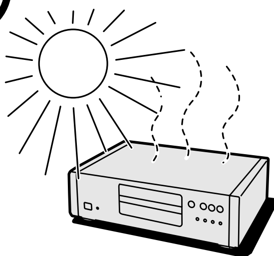


そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

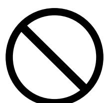
直射日光の当たる場所、異常に温度が高くなる場所に置かない

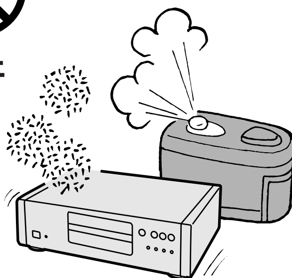

禁止



本機の内部温度が上昇し、火災の原因になります。

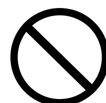
ほこりの多い場所、加湿器など湿気の多い場所に置かない

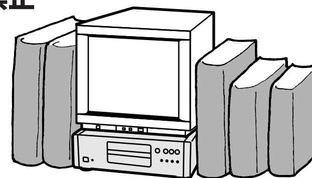

禁止



火災や感電の原因になります。

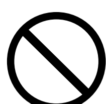
重いものを載せたり、風通しの悪い場所に置かない

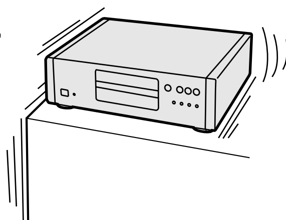

禁止



本機の内部温度が上昇し、火災の原因になります。

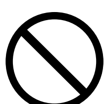
振動や衝撃のある場所、傾斜した場所に置かない

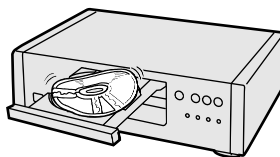

禁止



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

ひび割れや変形、修復したディスクは使用しない

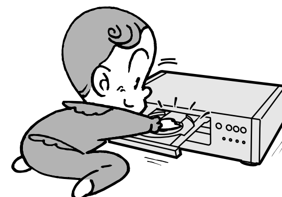

禁止



本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

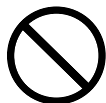
トレイに指を入れ、挟まれないように注意する

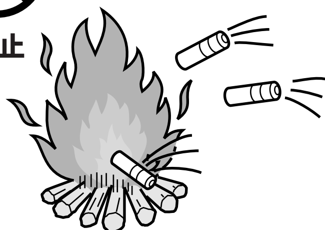

指に注意



けがの原因になります。

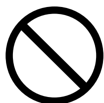
乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない

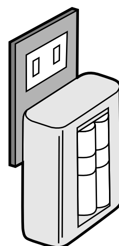

禁止



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因になります。

乾電池は充電しない


禁止



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因になります。

本機は重いので、持ち運ぶときは落とさないように注意する





足の上に落ちたりして、けがの原因になります。

使用上のお願い

本機の取扱いについて

■設置するときは

- 本機の性能を十分に機能させるため、丈夫で安定した台の上に設置することをおすすめします。
- 他の機器にあまり近づけない。
  （テレビ放送に映像の乱れや雑音などが発生したときは、本機の電源を切ってください）
- 棚の上など、高いところには置かない。
- アンプの上など、高温になる機器の上には設置しない。

■使用するときは

- 揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。
  （キャビネットの塗装がはげるおそれがあります）

■移動や移送するときは

- 移動するときは、ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す。
- 引っ越しなどで移送するときは、購入時のパッキングケースに入れる。
- 移動や移送するときは、落としたり、ぶつけたりしない。

■長期間使用しないときは

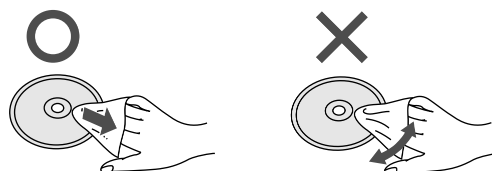
- 節電のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。（電源スイッチを切った状態でも、約 1.5 W の電力を消費しています）

ディスクの取扱いについて

■取り扱うときは

- ディスクの表面にふれたり、文字を書いたりしない。

ディスクに付いたほこりやごみ、指紋はやわらかい布でふく。必ず内から外へふく。



- よごしたり、傷つけたりしない。
- 直射日光の当たるところや、温度・湿度の高いところに置かない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- CD 用スタビライザーを使用しない。
- 保管するときは、専用のケースに入れる。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

本機のお手入れについて

- 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- よごれはやわらかい布で軽くふき取る。
  ［よごれがひどいときは、布を水でうすめた台所用洗剤（中性）にひたし、よくしぼってからふく］

ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。



各部のなまえとはたらき

本体前面

電源ボタン
(☞24 ページ)
電源を「切」「入」する。

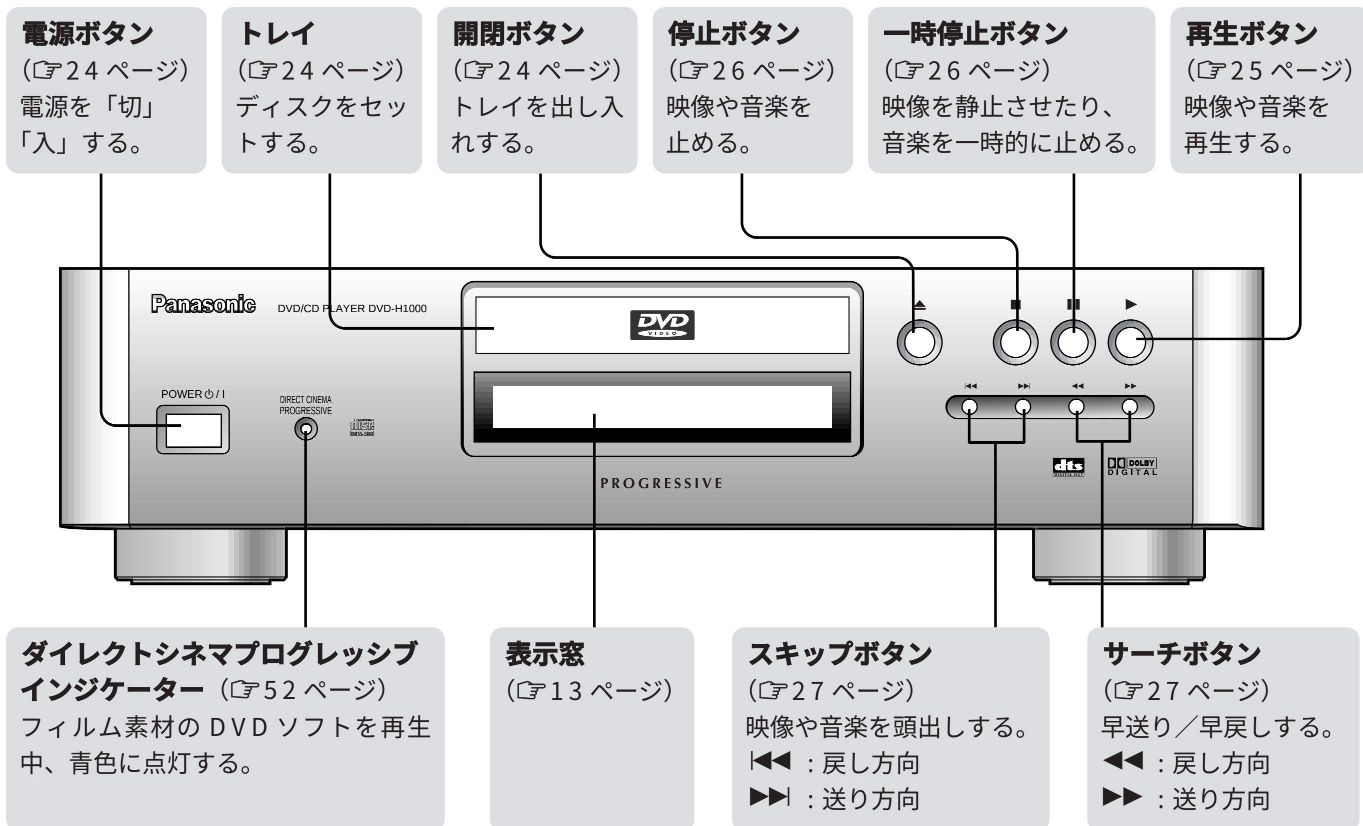
トレイ
(☞24 ページ)
ディスクをセットする。

開閉ボタン
(☞24 ページ)
トレイを出し入れする。

停止ボタン
(☞26 ページ)
映像や音楽を止める。

一時停止ボタン
(☞26 ページ)
映像を静止させたり、音楽を一時的に止める。

再生ボタン
(☞25 ページ)
映像や音楽を再生する。



ダイレクトシネマプログレッシブインジケーター (☞52 ページ)
フィルム素材の DVD ソフトを再生中、青色に点灯する。

表示窓
(☞13 ページ)

スキップボタン
(☞27 ページ)
映像や音楽を頭出しする。
⏮ :戻し方向
⏭ :送り方向

サーチボタン
(☞27 ページ)
早送り/早戻しする。
◀◀ :戻し方向
▶▶ :送り方向

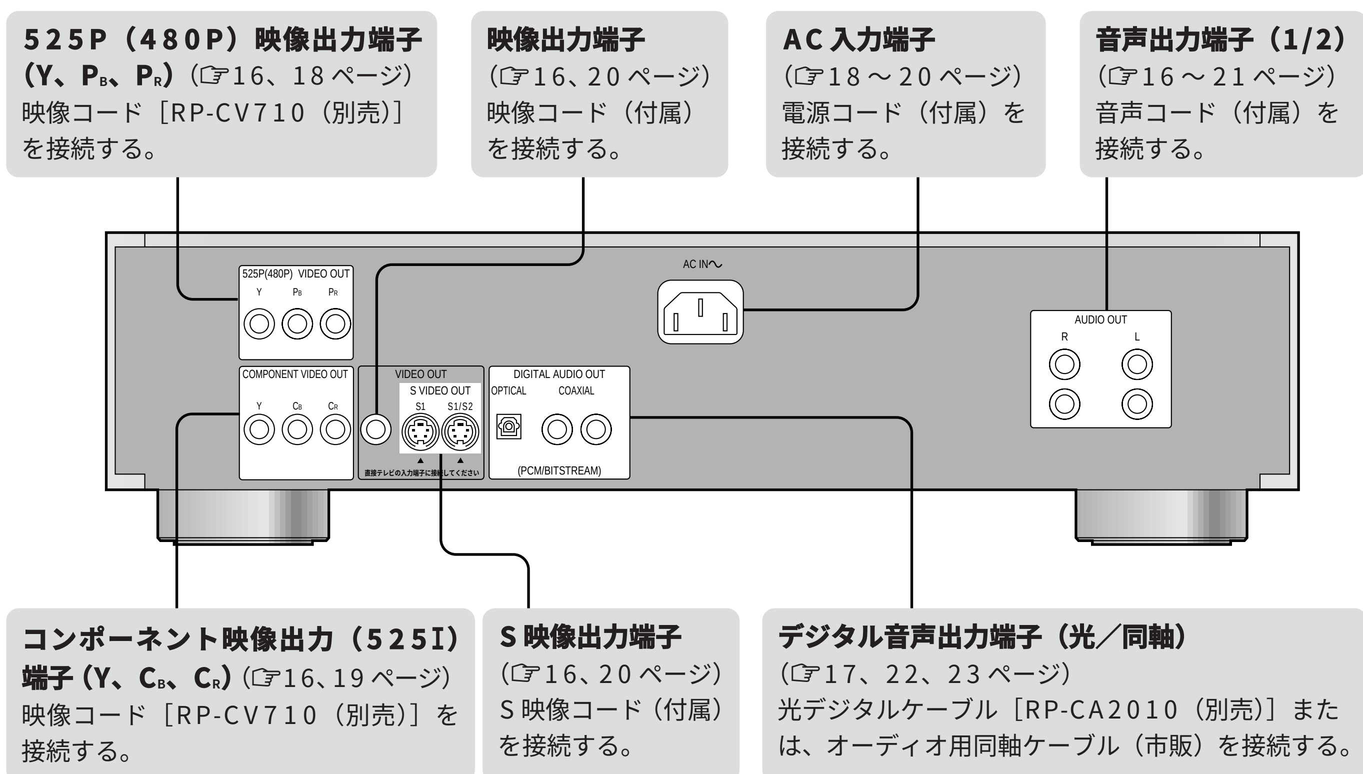
本体後面

525P (480P) 映像出力端子 (Y、P_B、P_R) (☞16、18 ページ)
映像コード [RP-CV710 (別売)] を接続する。

映像出力端子
(☞16、20 ページ)
映像コード (付属) を接続する。

AC 入力端子
(☞18 ~ 20 ページ)
電源コード (付属) を接続する。

音声出力端子 (1/2)
(☞16 ~ 21 ページ)
音声コード (付属) を接続する。



コンポーネント映像出力 (525I) 端子 (Y、C_B、C_R) (☞16、19 ページ)
映像コード [RP-CV710 (別売)] を接続する。

S 映像出力端子
(☞16、20 ページ)
S 映像コード (付属) を接続する。

デジタル音声出力端子 (光/同軸)
(☞17、22、23 ページ)
光デジタルケーブル [RP-CA2010 (別売)] または、オーディオ用同軸ケーブル (市販) を接続する。

本体表示窓

このようなとき	このような表示が出ます
トレイを開けたとき	OPEN
トレイを閉めようとしたとき	CLOSE
ディスクが入っていないとき	NO DISC
DVDを再生しているとき	► DVD c25 1:23:45 (チャプター 25 再生中)
インタラクティブなDVDを再生しているとき	► DVD PLAY
カラオケDVDを再生しているとき	► DVD T 13 0:17:45 (タイトル 13 再生中)
インタラクティブなDVDカラオケを再生しているとき	► DVD T 13 PLAY (タイトル 13 再生中)
ビデオCDを再生しているとき	► VCD 5 3:45 (トラック 5 再生中)
プレイバックコントロール付きビデオCDを再生しているとき	► VCD PBC
音楽CDを再生しているとき	► CD 5 3:45 (トラック 5 再生中)
再生できないとき	NO PLAY ● 初期設定「視聴制限」で再生を制限されているDVD（☞44 ページ） ● リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD ● PAL方式で記録されたディスク

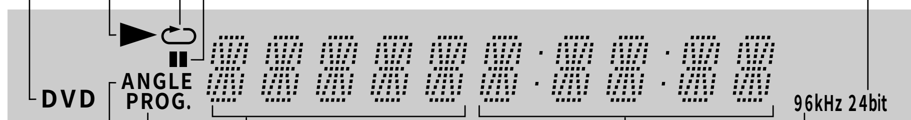
DVDがトレイに入っているときに点灯する。

再生中に点灯し、続き再生メモリー機能が働いているとき点滅する。

リピート再生中に点灯する。

静止／一時停止中に点灯する。

24 bit リニア PCM 音声を再生中に点灯する。



96 kHz サンプリング周波数のリニア PCM 音声を再生中に点灯する。

再生中、タイトル／トラックの経過時間を表示する。

DVDはタイトル／チャプター番号を、ビデオCDや音楽CDはトラック番号を表示する。

プログラム再生中に点灯する。

アングル切り換えができるときに点灯する。（DVD）

各部のなまえとはたらき（つづき）

リモコン

電源ボタン（☞24 ページ）
本機の電源を「切」「入」する。

画面表示ボタン
（☞28 ページ）
GUI 画面を表示する。

タイトルボタン
（☞38 ページ）
ディスクに収録されているタイトルメニューを表示する。

ジョイスティック/選択ボタン
（☞25 ページ）
上下左右に倒すと選択、押すと決定する。

マーカーボタン
（☞31 ページ）
再び見たい（聞きたい）箇所を記憶する。

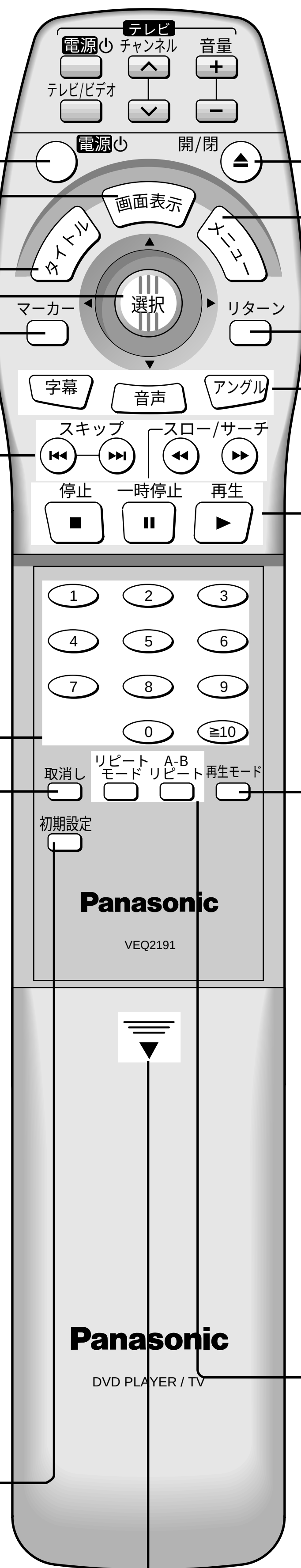
スキップボタン
（☞27 ページ）
映像や音楽を頭出しする。
⏮ ：戻し方向
⏭ ：送り方向

スロー／サーチボタン
（☞27 ページ）
スロー再生したり、早送り／早戻しする。
◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

番号ボタン（☞25 ページ）
数字を入力する。
10 以上を入力するとき
(≧10)ボタンを使用する。
例）25
(≧10) ⇒ (2) ⇒ (5)

取消しボタン
（☞28、31、34 ページ）
入力された数字を取り消す。

初期設定ボタン
（☞41 ページ）
初期設定画面を表示する。



開閉ボタン（☞24 ページ）
トレイを出し入れする。

メニューボタン
（☞39 ページ）
ディスクに収録されている
DVD メニューを表示する。

リターンボタン
（☞25、28、42～54 ページ）
メニューを一つ手前に戻す。

字幕ボタン（☞37 ページ）
DVD の字幕言語を切り換える。

音声ボタン（☞36 ページ）
DVD の場合、音声言語を切り換えたり、カラオケソフトのボーカルを切り換える。
ビデオ CD の場合、「LR」「L」「R」を切り換える。

アングルボタン
（☞37 ページ）
アングル（角度）を切り換える。

停止ボタン（☞26 ページ）
映像や音楽を止める。

一時停止ボタン
（☞26 ページ）
映像を静止させたり、音楽を一時的に止める。

再生ボタン（☞25 ページ）
映像や音楽を再生する。

再生モードボタン
（☞34、35 ページ）
「通常再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える。

リピートモードボタン
（☞32 ページ）
繰り返し再生をする。

A-B リピートボタン
（☞33 ページ）
指定した 2 点間の繰り返し再生をする。

■ふたを開けるときは
の部分を軽く押しながら、矢印の方向にふたを下げる。

リモコンの準備

テレビを操作するボタン

電源ボタン（☞40 ページ）
テレビの電源を「切」「入」する。

チャンネルボタン
（☞40 ページ）
テレビのチャンネルを順に送る。
∧：順方向
∨：逆方向

音量ボタン（☞40 ページ）
テレビの音量を調節する。
＋：音量大
－：音量小

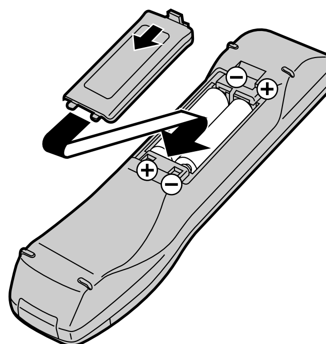
テレビ／ビデオボタン
（☞40 ページ）
テレビの入力を切り換える。



お知らせ

テレビを操作する前に、テレビのメーカー番号を設定してください。（☞40 ページ）

乾電池（付属）を入れる



1 ふたを開ける
（▼の部分に指を入れ、矢印の方向にふたを押し、持ち上げる）

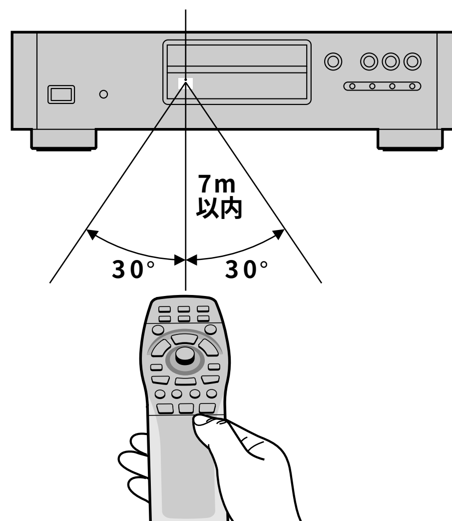
2 乾電池を入れる
（⊕⊖ を確かめて、正しく入れる）

3 ふたを閉める

■乾電池の寿命は 1 年です

- リモコンを本体の近くで操作しても働かないときは交換してください。
- 乾電池は単 3 形（R6P）を使ってください。

リモコンの使用範囲



お願い

- 充電式電池（Ｎｉ-Ｃｄ）は使わない。
- 新旧・異種の電池は混用しない。
- 落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしない。（部品がこわれたりして、故障の原因になります）
- 長期間使わないときは、乾電池を取り出しておく。（液もれが起こり、故障の原因になります）
- 液もれが起こったときは、リモコン内部についた液をよくふき取ってから新しい電池を入れる。
- 液が体についたときは、水でよく洗い流す。
- リモコンは、使用範囲内でお使いください。
- リモコン受信部に強い光を当てない。
- リモコンとリモコン受信部の間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

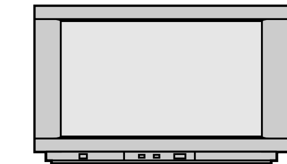
接続のしかた

接続する前に

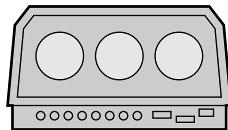
- 本機および接続する機器の電源を「切」にしてください。
- 接続する機器の説明書もよくお読みください。

本機に接続できる機器の種類や、必要なケーブルなどについては、以下の表をよくお読みください。

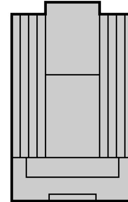
お手持ちの映像機器



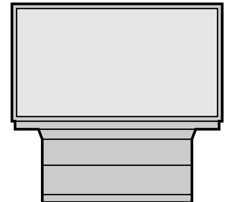
標準（ブラウン管テレビ）
（☞18～20ページ）
4:3 テレビ、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビなど



3管式プロジェクター
（☞18～20ページ）
3つの光源から大型スクリーンに投射することで、シネマサイズの大画面が楽しめます。



液晶プロジェクター
（☞19、20ページ）
液晶パネルから大型スクリーンに投射することで、シネマサイズの大画面が楽しめます。



プロジェクションテレビ
（☞18～20ページ）
プロジェクター方式で大画面に投射することで、ブラウン管テレビでは味わえない迫力ある映像が楽しめます。

端子の種類

525P（480P）またはコンポーネント映像入力端子（端子の種類をよくご確認ください）

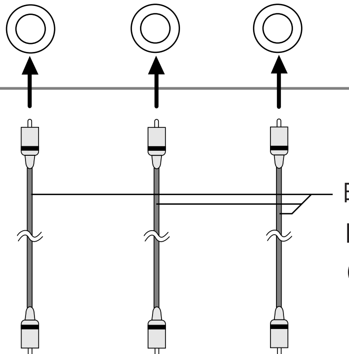
Y　PB または CB　PR または CR

映像入力端子

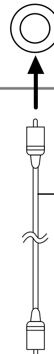
S映像入力端子

音声入力端子

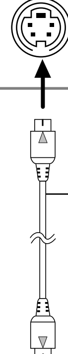
左　右



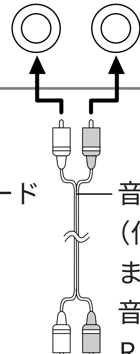
映像コード
RP-CV710
（1.0 m）（別売）



映像コード
（付属）
または
映像コード
RP-CV710
（1.0 m）（別売）

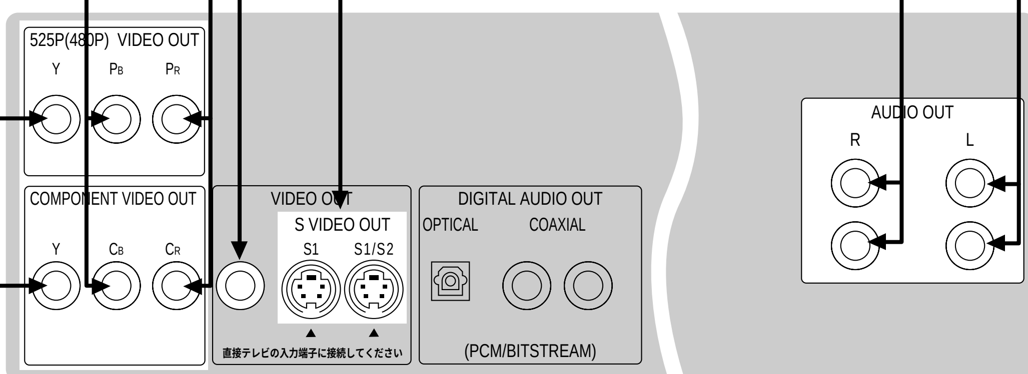


S映像コード
（付属）

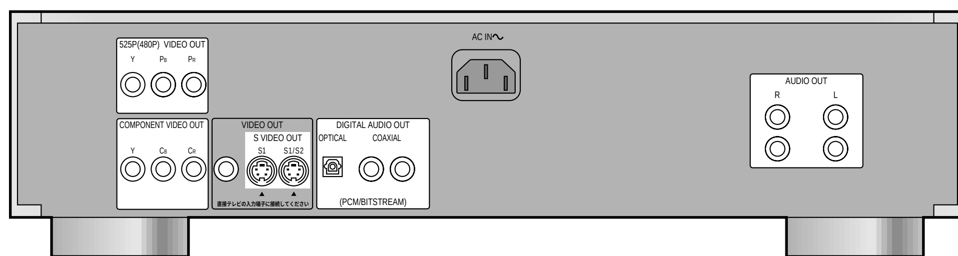


音声コード
（付属）
または
音声コード
RP-CA910
（1.0 m）（別売）

本機後面



本機後面



さらに音声を楽しむときは

音響機器（アナログ接続の場合）

2ch

ステレオ装置／ドルビープロロジックデコーダー
（☞21 ページ）

端子の種類
音声入力端子
左　右

本機後面
DIGITAL AUDIO OUT
OPTICAL　COAXIAL
(PCM/BITSTREAM)

音声コード（付属）
または
音声コード
RP-CA910
（1.0 m）（別売）

光デジタルケーブル
RP-CA2010
（1.0 m）（別売）

オーディオ用同軸
ケーブル（市販）

AUDIO OUT
R　L

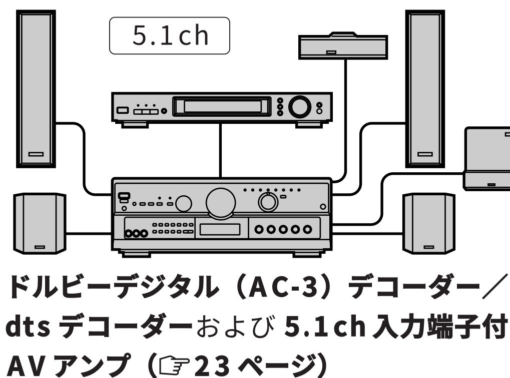
本機後面

光　または　同軸
デジタル音声入力端子
端子の種類

音響機器（デジタル接続の場合）



ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダーを内蔵していないデジタル音声入力端子付アンプ（☞22 ページ）



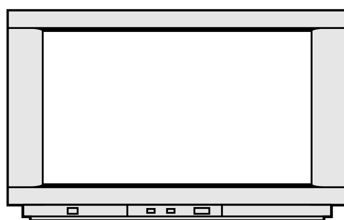
ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダーおよび **5.1ch 入力端子付 AV アンプ（☞23 ページ）**

準備

525P（480P）映像入力端子（Y、PB、PR）付 ハイビジョンテレビ／3管式プロジェクターと接続する

従来のインタレース出力で、大画面映像になればなるほど目についていたテレビ画面の走査線。プログレッシブ出力では、走査線も目立たなくなり、ちらつきの少ない、高密度な映像を再現します。本機を525P（480P）映像入力に対応のハイビジョンテレビや3管式プロジェクターなどと接続することで、映画のDVDソフトなどは、より映画に近い、リアルな映像で再現されます。

525P（480P）映像入力端子付ハイビジョンテレビ／3管式プロジェクター



※接続するテレビのタイプ（4：3または16：9）に応じて、初期設定「6 接続するTV」を設定してください。
（☞49ページ）

525P（480P）映像入力端子（Y、PB、PR）

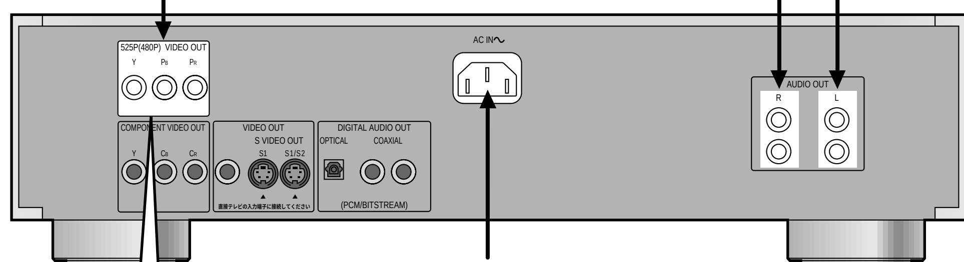
音声入力端子（赤／白）

信号の流れ

映像コード
RP-CV710
（1.0 m）（別売）

音声コード（付属）
または
音声コード
RP-CA910
（1.0 m）（別売）

本機



電源コード（付属）

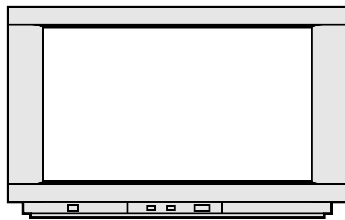
電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

電源プラグは、刃に刻印（○○）のある方を電源コンセントのアース側に差し込むことをおすすめします。（差し込みが逆でも安全上は問題ありません）

525P（480P）映像出力端子（Y、PB、PR）について：
従来の映像信号（NTSC）は525I［I：インタレース（飛び越し走査）］といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P［P：プログレッシブ（順次走査）］といいます。
525P（480P）映像出力端子（Y、PB、PR）を使ってプログレッシブ映像をお楽しみになる場合は、525P（480P）映像入力に対応のハイビジョンテレビや3管式プロジェクターなどと接続してください。

コンポーネント映像入力（525I）端子（Y、C_B、C_R）付テレビ／モニターと接続する

コンポーネント映像入力（525I）端子付テレビ／モニター



※接続するテレビのタイプ（4 ： 3 または 16 ： 9）に応じて、初期設定「6 接続する TV」を設定してください。（☞49 ページ）

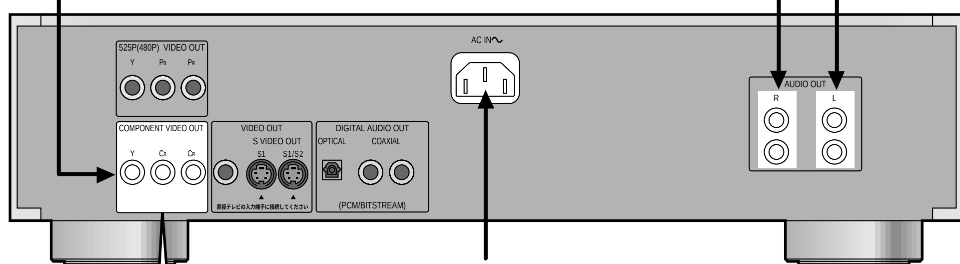
コンポーネント映像入力（525I）端子（Y、C_B、C_R）　音声入力端子（赤／白）

信号の流れ

映像コード RP-CV710 （1.0 m）（別売）

音声コード（付属） または 音声コード RP-CA910 （1.0 m）（別売）

本機



電源コード（付属）

電源コンセント （AC100 V　50/60 Hz）

電源プラグは、刃に刻印（○○）のある方を電源コンセントのアース側に差し込むことをおすすめします。（差し込みが逆でも安全上は問題ありません）

コンポーネント映像出力（525I）端子（Y、C_B、C_R）について

輝度（Y）、コンポーネント（C_B、C_R）信号が、それぞれ独立して出力されるため、色をより忠実に再現します。

- 525P（480P）映像出力とは、信号方式が異なるので、必ず接続する映像機器のコンポーネント映像入力（525I）端子（Y、C_B、C_R）と接続してください。
- テレビやモニターによってコンポーネント映像入力端子の表示が異なります（Y、P_B、P_Rまたは Y、B-Y、R-Y または Y、C_B、C_Rなど）。詳しくは、テレビに付属の説明書をよくお読みください。

準備

接続のしかた（つづき）

ワイドテレビ／ＡＶテレビと接続する

ワイドテレビ／
ＡＶテレビ

※接続するテレビのタイプ（4 ：3 または 16 ：9）に応じて、初期設定「6 接続する TV」を設定してください。（☞49 ページ）

S 映像入力端子/S 1 映像入力端子/S 2 映像入力端子

映像入力端子（黄）

音声入力端子（赤／白）

信号の流れ

映像コード（付属）
または
映像コード
RP-CV710
（1.0 m）（別売）

S 映像コード
（付属）

音声コード（付属）
または
音声コード
RP-CA910
（1.0 m）（別売）

本機

電源コード（付属）

電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

電源プラグは、刃に刻印（○ ○）のある方を電源コンセントのアース側に差し込むことをおすすめします。（差し込みが逆でも安全上は問題ありません）

S 映像出力端子について

映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。
S 映像入力端子付テレビには、S 映像コード（付属）で接続することをおすすめします。
なお、本機は自動的にワイドテレビの画質モードを切り換える S1/S2 規格に対応しています。

- S 映像出力端子 S1 ：　S1 のみに対応
- S 映像出力端子 S1/S2 ：　S1 と S2 に対応

（S1/S2 は、初期設定「9 エキスパート設定」の「S 端子出力 S1/S2 のモード」で切り換えてください ☞54 ページ）

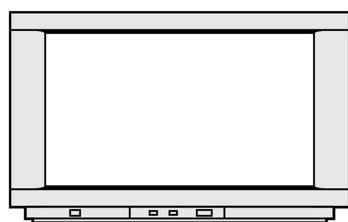
お願い

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダー)経由で接続しないでください。再生時､画面がみだれることがあります。



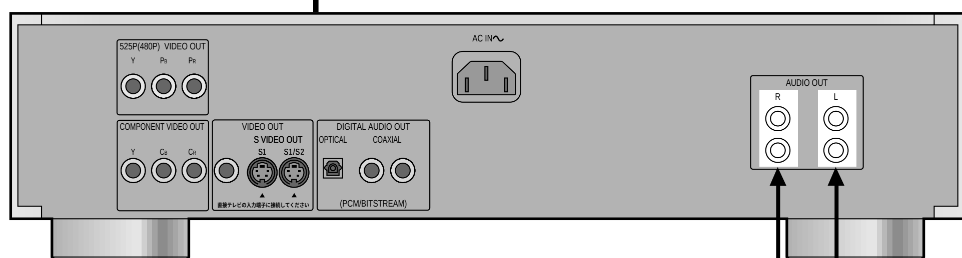
ステレオ装置やドルビープロロジックデコーダーと接続する

テレビ



18～20ページをお読みください

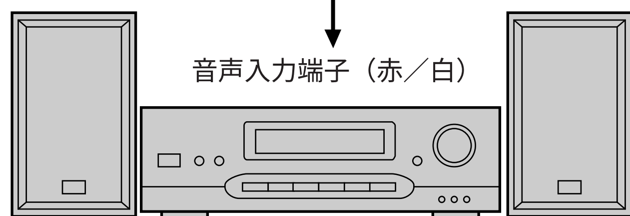
本機



信号の流れ

音声入力端子（赤／白）

音声コード（付属）
または
音声コード
RP-CA910
（1.0 m）（別売）



ステレオ装置／ドルビープロロジックデコーダー

お知らせ

- ドルビープロロジックデコーダーに接続すると、ドルビーデジタル／ 5.1ch サラウンドで収録されたDVDをドルビープロロジックサラウンドで楽しむことができます。
  サラウンド音声を楽しむときは、上記の接続例にセンタースピーカー、サラウンドスピーカーが、別途必要となります。
  （接続のしかたについては、ドルビープロロジックデコーダーに付属の説明書をご参照ください）

用語解説

- **ドルビーデジタル（AC-3）**
  ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。
- **リニアPCM音声**
  音楽CDに用いられている信号記録方式です。
  音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、「AC-3」、「Pro Logic」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。
著作権1992－1997年ドルビーラボラトリーズ。
不許複製。

接続のしかた（つづき）

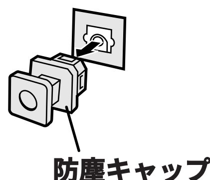
デジタル音声出力端子で音声を楽しむ

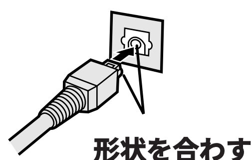
■本機のデジタル音声出力端子（光/同軸）から出力される音声について

再生するディスク	音声記録方式	出力される音声
DVD	ドルビーデジタル（AC-3）	●ドルビーデジタル（AC-3）のビットストリーム（1ch～5.1ch） ●PCM（48 kHz/16 bit）（2ch）（圧縮音声を PCM に変換し出力します） **※初期設定「7 デジタル出力」で選択してください。**
	リニア PCM 48 kHz/96 kHz 16/20/24 bit	●リニア PCM（48 kHz/16 bit）（2ch） ●音声出力なし **※初期設定「7 デジタル出力」で選択してください。**
	dts	●dts のビットストリーム（1ch～5.1ch） ●音声出力なし **※初期設定「7 デジタル出力」で選択してください。**
ビデオ CD	MPEG1	PCM（44.1 kHz）（圧縮音声を PCM に変換し出力します）
音楽 CD	リニア PCM	リニア PCM（44.1 kHz）

■デジタル音声出力端子（光）に光デジタルケーブル（別売）を接続するときは

防塵キャップを外し、形状を合わせて、
奥までしっかりと差し込んでください。


防塵キャップ


形状を合わす

お願い

●防塵キャップを紛失しないよう保管し、端子を使わないときは、ほこりが付かないようキャップを付けてください。

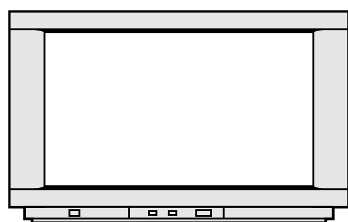
ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダーを内蔵していないデジタル音声入力端子付アンプと接続する

※初期設定「7 デジタル出力」を以下のように設定してください。（☞50 ページ）

- **「LPCM 48kHz-16bit 変換」⇒「する」**
- **「Dolby Digital」⇒「PCM」**
- **「dts」⇒「オフ」**

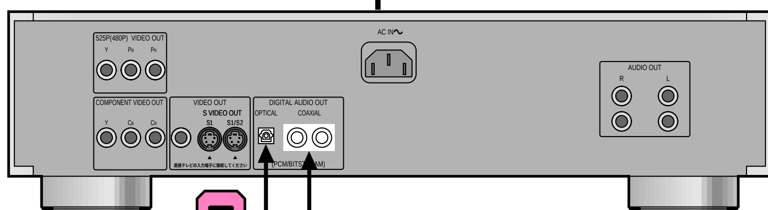
正しく設定せずに DVD を再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

テレビ



18～20 ページをお読みください

本機



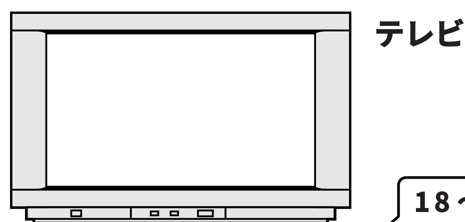
信号の流れ

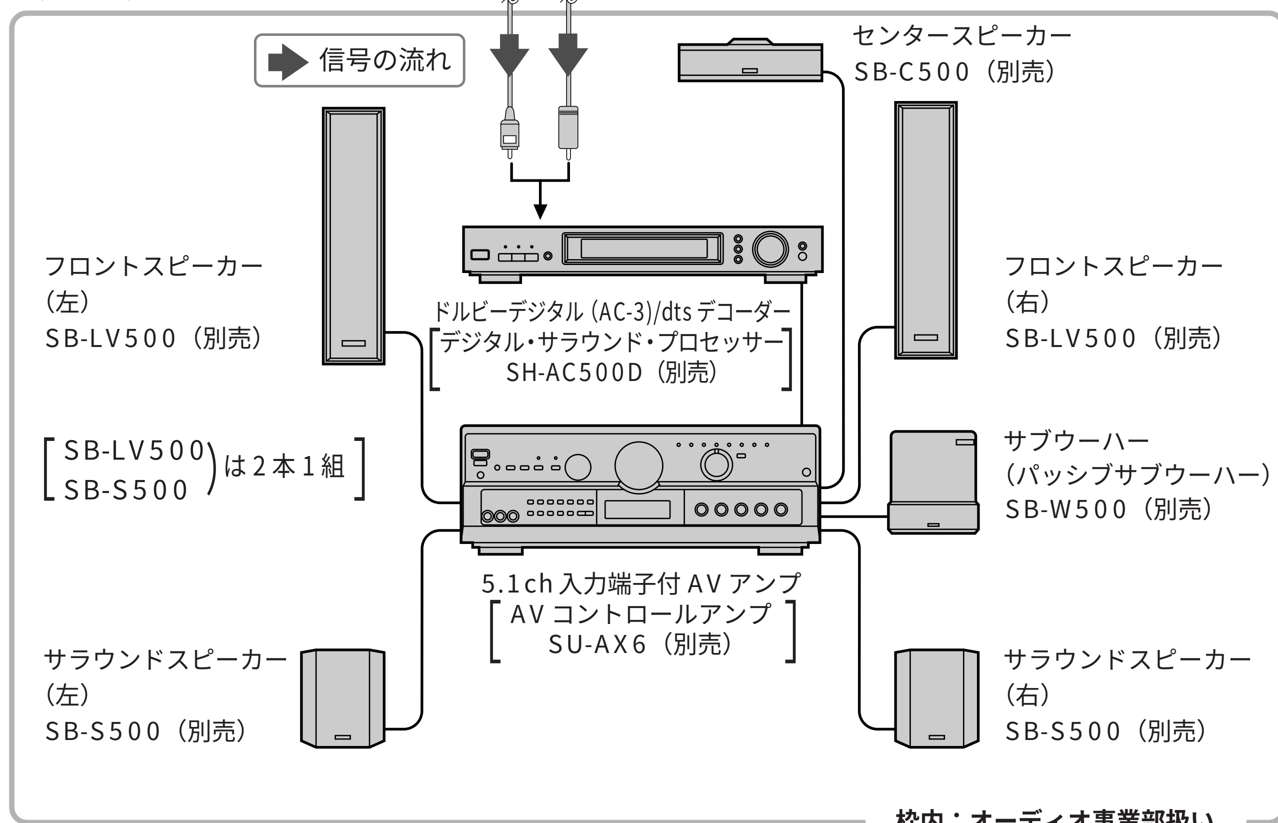
オーディオ用同軸ケーブル（市販）
または
光デジタルケーブル RP-CA2010
(1.0 m)（別売）


デジタル音声
入力端子

ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダーと接続する

ドルビーデジタル／dts　5.1ch サラウンドで収録された DVD の再生時は、本機の光デジタル音声出力端子または、同軸デジタル音声出力端子からドルビーデジタル／dts のビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダー／dts デコーダーに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。





準備

お知らせ

- DVD に対応していない dts デコーダーは使用できません。

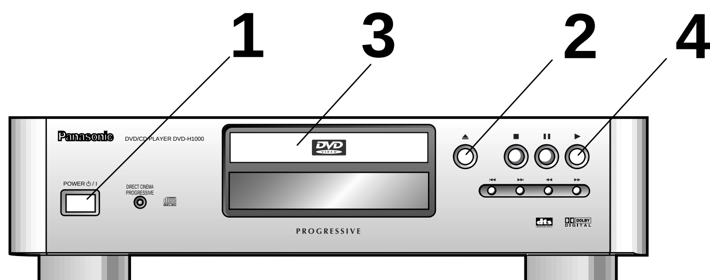
用語解説

- **デジタル音声出力端子（光）**
  デジタル音声出力端子（光）は、電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるため、「外部からの電気的な影響を受けない」「雑音の発生を防ぎ外部への影響も少ない」などの特長があります。

再生してみよう

ご準備

●テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
●ステレオセットなどと接続しているときは、それらの電源を入れる。



お知らせ

●操作手順 **1 ～ 4** は、本体でも操作できます。

1 電源ボタンを押す

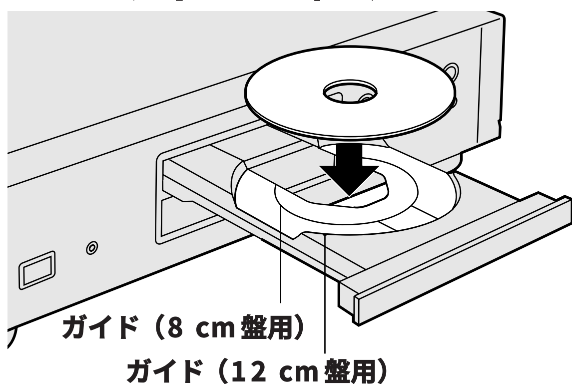
（本機の電源が入ります）

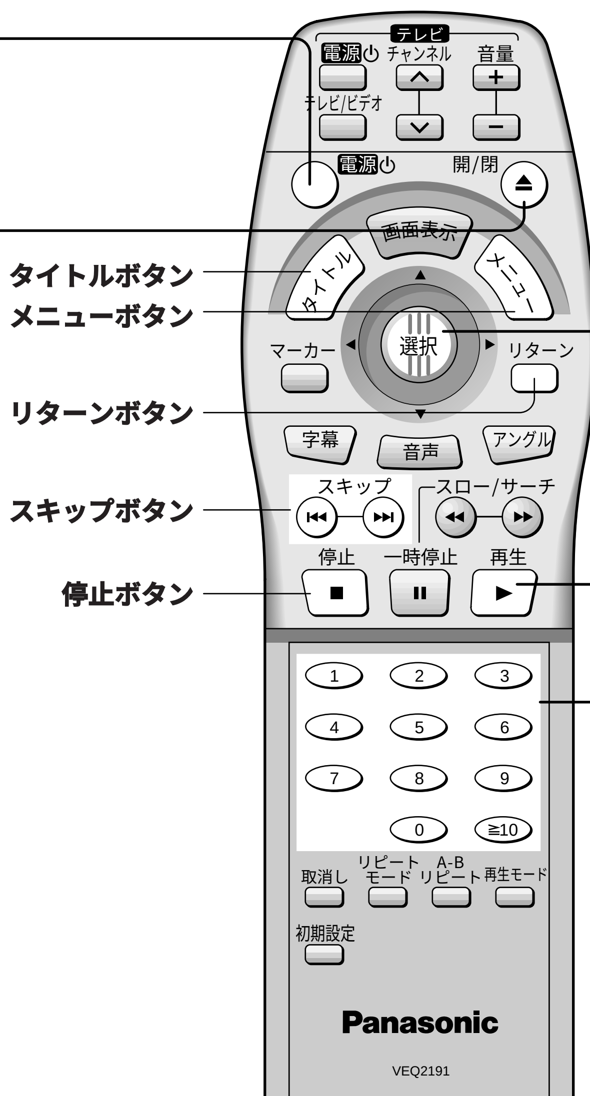
2 開閉ボタンを押す

（トレイが出ます）

オープン

3 再生したい面のラベル印刷面を上にして、トレイに ディスクを置く



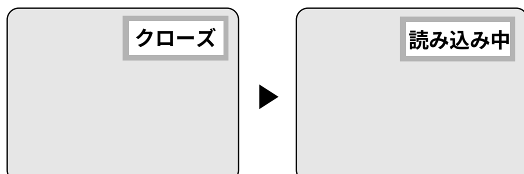


お願い

● ディスクは、ガイドに合わせて置いてください。
● トレイには、2 枚以上のディスクをのせないでください。
●テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。続けて再生しないときは、必ず**停止ボタン**を押してください。

4 再生ボタンを押す

(自動的にトレイが閉まり、再生が始まります)

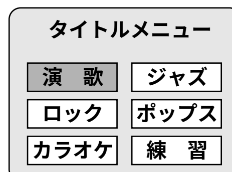


●**開閉ボタン**を押してトレイを閉めたときは、**再生ボタン**を押してください。

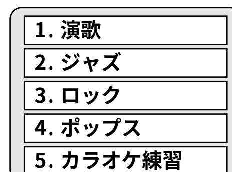
■メニュー画面が表示されたときは

インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD（☞5 ページ）の多くのものは、メニュー画面が表示されます。
このような場合、手順 **5**、**6** で見たい項目を選び、再生を始めてください。

例）インタラクティブなDVDのとき

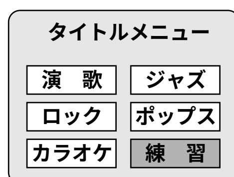


例）プレイバックコントロール付きビデオCDのとき



5 ジョイスティックまたは、番号ボタンで、見たい項目を選ぶ

例）DVD
“練習”を選んだとき



●**番号ボタン**で選んだときは、手順 **6** は不要です。
●ディスクによって異なりますが、**スキップボタン**を押すと、メニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。
(ディスクのジャケットもご参照ください)
●ビデオ CD のときは、**ジョイスティック**が使えません。**番号ボタン**で見たい項目を選んでください。

6 選択ボタンを押す

(見たい項目が決定され、再生が始まります)

例）DVD



例）ビデオ CD



●ディスクによって異なりますが、DVD 再生中は**タイトルボタン**/**メニューボタン**/**リターンボタン**を、ビデオ CD 再生中は**リターンボタン**を押すと、メニュー画面に戻すことができます。

■再生が終了したときは

続けて再生しないときは、節電のため、**電源ボタン**を押して、本機の電源を切ってください。
電源を切らなくても、停止状態で約 30 分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。**(オートパワーオフ)**

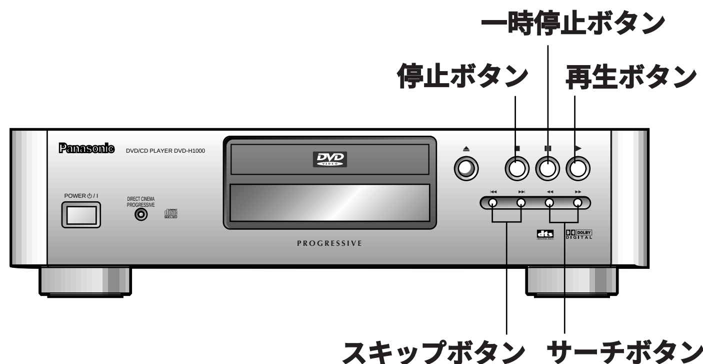
お知らせ

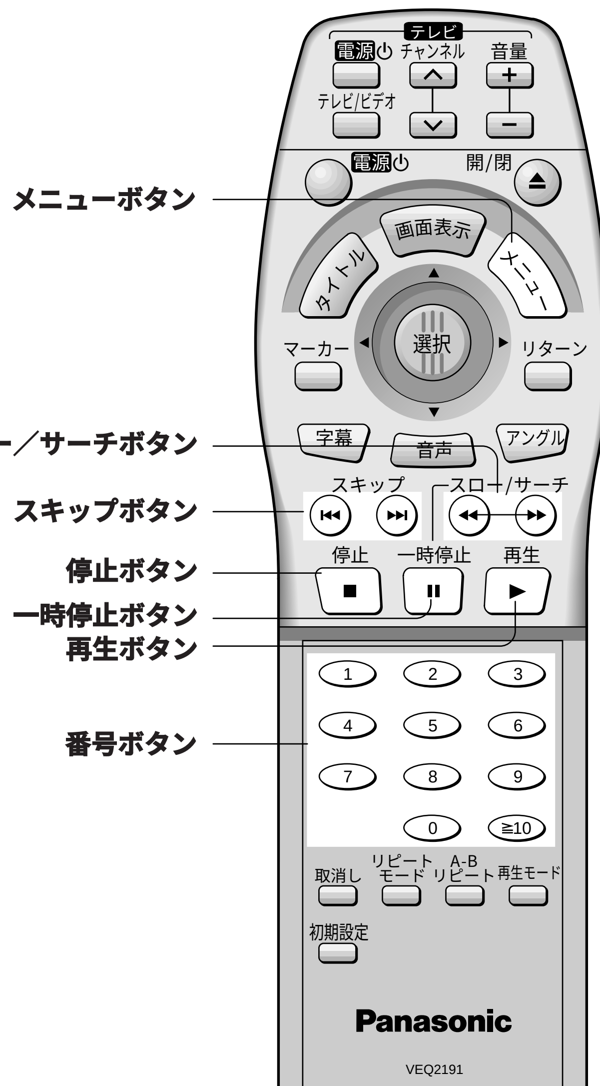
●ボタン操作中、テレビ画面に ⃠ が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

用語解説

●**インタラクティブな DVD**
例えば、複数のアングルやストーリーなどが収録された DVD ソフトです。

再生してみよう（つづき）





再生を止める

再生中、リモコンまたは本体の

停止ボタンを押す

続き再生メモリー機能について

本機は、再生中に**停止ボタン**を押すと、止めた位置を記憶し、表示窓の ▶ マークが点滅します。

（続き再生メモリー機能）

- ▶ マークが点滅している状態で**再生ボタン**を押すと、止めたところから再生が始まります。
- ▶ マークが点滅している状態で、トレイを開けるか、もう一度、**停止ボタン**を押すと、続き再生メモリー機能は解除されます。

続き再生メモリー機能は、再生中、表示窓に経過時間が表示されているタイトルにのみ働きます。
続き再生メモリー機能は、電源を「切」「入」しても保持しています。

静止（一時停止）する

再生中、リモコンまたは本体の

一時停止ボタンを押す

- **再生ボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

コマ送り再生する（DVD/ビデオ CD のみ）

静止中、リモコンまたは本体の

一時停止ボタンを押す

- 押すたびに、1 コマずつ再生します。
- 押し続けると、連続してコマ送り再生します。
- **再生ボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- コマ送り再生時での “ フレームスチル ”、“ フィールドスチル ” は、自動的に選ばれます。
（☞54 ページ）

早送り／早戻しする

リモコンでの操作

再生中、

スロー／サーチボタンを押す

◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

本体での操作

再生中、

サーチボタンを押す

◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

● 押すたびに、早送り/早戻し速度（5 段階）が速くなります。
● **再生ボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

● プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中、**スロー/サーチボタン**（本体の場合は、**サーチボタン**）を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。
● 早送り 1 速時は、音声が聞こえます。(☞54 ページ)

スロー再生する（DVD/ビデオ CD のみ）

リモコンでの操作

静止中、

スロー／サーチボタンを押す

◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

本体での操作

静止中、

サーチボタンを押す

◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

● 押すたびに、スロー速度（5 段階）が速くなります。
● **再生ボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

● ビデオ CD は逆スロー再生できません。

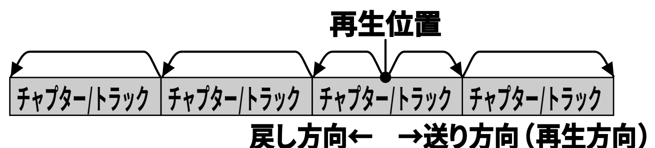
頭出しする

再生中、リモコンまたは本体の

スキップボタンを押す

|◀◀ ：戻し方向
▶▶| ：送り方向

● 押した回数だけチャプター/トラックをとびこします。
● 戻し方向に 1 回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。



お知らせ

● プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中、**スキップボタン**を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

プレイバックコントロール付きビデオ CD の メニュー再生機能を使わずに再生する

1 **ビデオ CD のメニュー画面表示中、**

停止ボタンを押す

［表示窓の“ PBC ”(☞13 ページ) が消えます］

2 **番号ボタンで、**

希望のトラック番号を入力する

（再生が始まります）

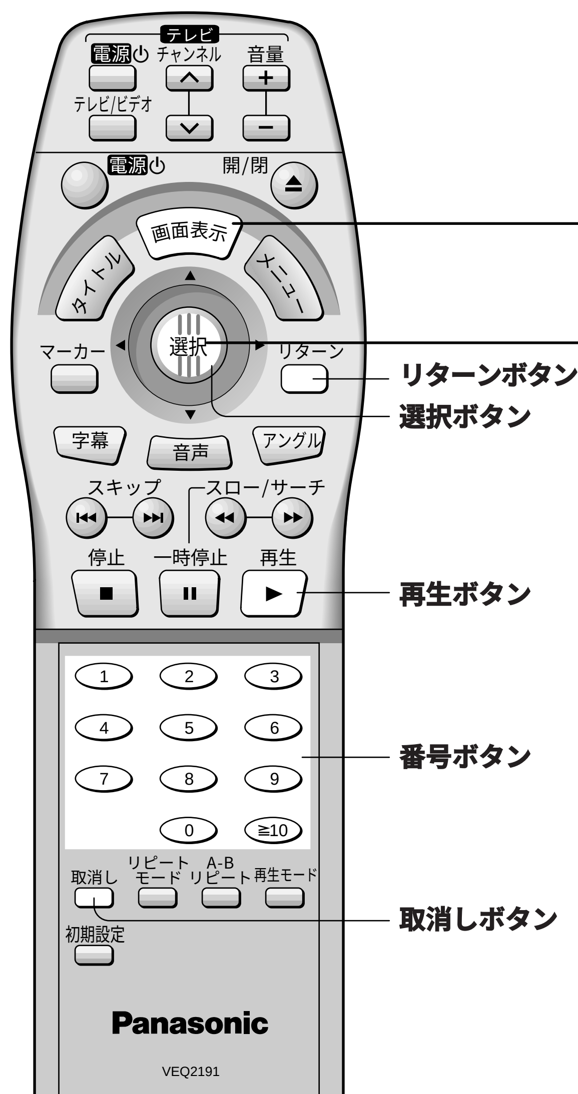
● トラック番号は、ディスクのジャケットなどを参照してください。
● ディスクの先頭から再生するときは、**番号ボタン**の **1** を押してください。

■メニュー再生に戻すときは

停止ボタンを押して、再生を止め、**メニューボタン**を押してください。
（表示窓の “ PBC ” が点灯し、テレビ画面にメニューが表示されます）
25 ページの手順 **5、6** を行ってください。

GUI画面を使って操作する

GUI（Graphical User Interface）画面とは、リモコンの**画面表示ボタン**を押すことでテレビ画面に表示される横長の画面のことで、別々の機能が割り当てられている複数のアイコンから構成されています。
リモコンの**ジョイスティック**／**選択ボタン**の操作だけで、ディスクに関する情報（タイトル／チャプター／時間／音声／字幕／アングル）や本機に関する情報（リピート／マーカー／ガンマ補正／シャープネス）を表示したり、その内容を変更することができます。



1 再生中または停止中、**画面表示ボタンを押す**

（GUI画面が表示されます）

- 押すごとにテレビ画面の表示が切り換わります。
- 表示される項目は、ディスクにより異なります。

例）DVDの場合

- 通常の再生画面
- ディスクの情報画面
- 本機の情報画面
- シャトル画面

2 ジョイスティック（◀▶）で、**変更する項目を選ぶ**

（選ばれた項目は黄色の枠で表示されます）

3 ジョイスティック（▲▼）で、**内容を変更する**

- 変更内容は、すぐに実行されるものもあれば、**選択ボタン**または**再生ボタン**を押すことにより実行されるものがあります。また、停止中のGUI画面からは、機能によって働かないものがあります。
- タイトルなど、番号が表示されているところは、**番号ボタン**で変更できます。**番号ボタン**で変更したときは、**選択ボタン**を押して実行してください。

お知らせ

- GUI画面は、**リターンボタン**または、**取消しボタン**でも消すことができます。
- DVDソフトの種類によっては、自動画像ズーム機能を内蔵したテレビで、その機能が有効になっているときに、GUI画面の一部が欠けたり、表示されなかったりすることがあります。
この場合、テレビに付属の説明書を参照し、適切なテレビ画面の種類を選んでください。

テレビ画面に表示されるアイコンの説明（ディスクの情報画面）

■ DVDの場合

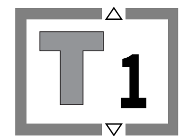
タイトル番号	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**または、**番号ボタン**で変更し、**選択ボタン**を押す。
チャプター番号	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**または、**番号ボタン**で変更し、**選択ボタン**を押す。
経過時間（時：分：秒）	変更は、**番号ボタン**で変更し、**選択ボタン**を押す。 例）1時間56分37秒 ⇒「15637」と入力する。 （ディスクによっては、変更できない場合があります）
アングル番号	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**または、**番号ボタン**で変更する。

T1　C1　1:56:37　LPCM 1 英 48k 16b　入 1 英　1

音声番号	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**または、**番号ボタン**で変更する。				
音声言語	**日**	日本語	**蘭**	オランダ語	
	英	英語	**中**	中国語	
	仏	フランス語	**露**	ロシア語	
	独	ドイツ語	**韓**	韓国語	
	伊	イタリア語	**＊**	その他	
	西	スペイン語			
音声属性	**LPCM**	**96k** または **48k**	**16b** / **20b** / **24b**	リニアPCM ※kはkHz、bはbitを示します。	
	DD	1ch~5.1ch		ドルビーデジタル（AC-3）	
	dts	1ch~5.1ch		dts	
	VOCAL	--- / 入		DVDカラオケ（ソロ）	
	VOCAL	V1+V2 / V1 / V2 / ---		DVDカラオケ（デュエット）	

字幕番号	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**または、**番号ボタン**で変更する。			
字幕言語	**日**	日本語	**蘭**	オランダ語
	英	英語	**中**	中国語
	仏	フランス語	**露**	ロシア語
	独	ドイツ語	**韓**	韓国語
	伊	イタリア語	**＊**	その他
	西	スペイン語		
字幕切入	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**で変更する。			
	切	字幕「切」		
	入	字幕「入」		

お知らせ
- 枠の △▽ マークは、**ジョイスティック**の ▲▼ で変更できることを示します。



■ビデオCD/音楽CDの場合

トラック番号	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**または、**番号ボタン**で変更し、**選択ボタン**を押す。

音声モード（ビデオCDのみ）	変更は、**ジョイスティック（▲▼）**で変更する。	
	LR	スピーカー（左）から左チャンネルの音声、スピーカー（右）から右チャンネルの音声を出力
	L	左チャンネルの音声のみ出力
	R	右チャンネルの音声のみ出力

T1　3:37　L R　PBC 切

経過時間（分：秒）

プレイバックコントロール（ビデオCDのみ）（☞27ページ）	**切**	メニュー再生していないとき
	入	メニュー再生しているとき

お知らせ
- プレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中は、トラック番号および経過時間を表示しません。
- GUI画面を使って、プレイバックコントロールを「切」「入」することはできません。

（30ページにつづく）

もっと使う

GUI画面を使って操作する（つづき） DVD VCD CD

テレビ画面に表示されるアイコンの説明（本機の情報画面）

A-Bリピート再生（☞33ページ）	再生中、**選択ボタン**を押すと、A点が記憶され、もう一度押すと、B点が記憶され、指定した2点間のリピート再生が開始する。さらに、もう一度押すと、通常の再生に戻る。

リピート再生（☞32ページ）	再生中、**ジョイスティック（▲▼）**で、リピート再生が開始する。		
	切	通常再生	DVD
	C	チャプターリピート再生	
	T	タイトルリピート再生	
	切	通常再生	ビデオCD 音楽CD
	T	トラックリピート再生	
	A	ディスクリピート再生	

ガンマ補正（☞53ページ）（DVD／ビデオCDのみ）	再生中、**ジョイスティック（▲▼）**で選ぶ。
入	ガンマ補正あり
切	ガンマ補正なし

プログレッシブ出力表示（DVD／ビデオCDのみ）

・・	切	---	＊＊＊＊＊	Progressive ▶	1	入

再生モード（☞34、35ページ）（ビデオCD/音楽CDのみ）	
PRG	プログラム再生
RND	ランダム再生
---	通常再生

シャープネス（DVD／ビデオCDのみ）	再生中、**ジョイスティック（▲▼）**で選ぶ。（0から3へと輪郭補正の度合いが強くなります。）
0	輪郭補正なし
1	輪郭補正弱
2	輪郭補正中
3	輪郭補正強

マーカー（☞31ページ）	再生中、**選択ボタン**を押し、マークしたいところで、もう一度、**選択ボタン**を押す。（「＊」部に数字が表示されます） ●マークしたところを呼び出すときは、**ジョイスティック（◀▶）**でマーク番号を選び、▲方向に**ジョイスティック**を倒す。 ●マークしたところを取り消すときは、**ジョイスティック（◀▶）**でマーク番号を選び、**取消しボタン**を押す。

お知らせ

- リピート再生／マーカーは、インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中には働きません。
- A-Bリピート再生は、インタラクティブなDVDには働きません。
- GUI画面を使って、再生モード、プログレッシブ出力表示を変えることはできません。
- ガンマ補正、シャープネスは、プログレッシブ出力のとき働きます。（☞18、52ページ）

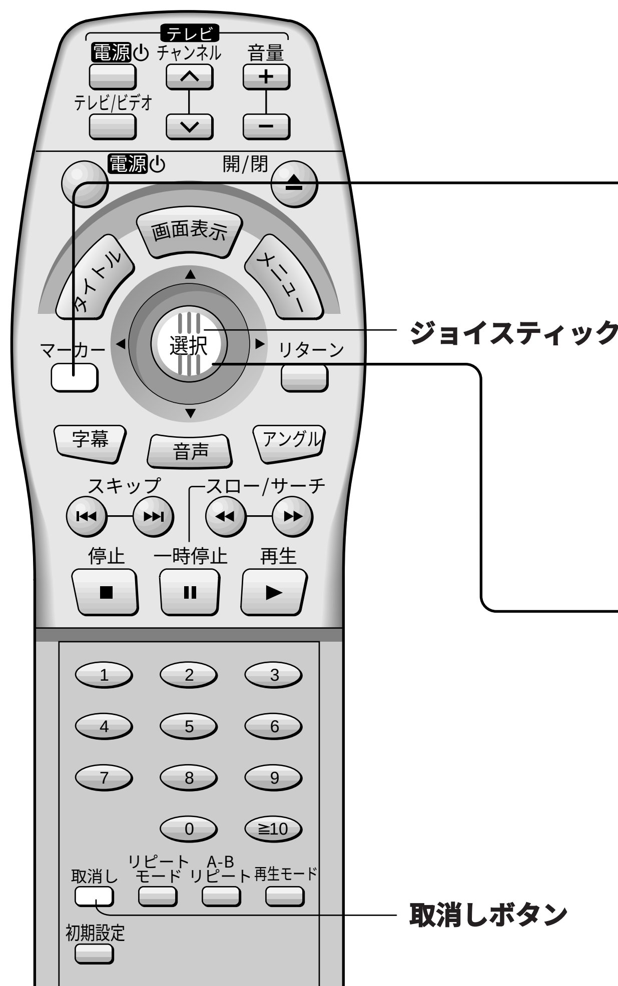
テレビ画面に表示されるアイコンの説明（シャトル画面）

静止/一時停止	▲方向に**ジョイスティック**を倒す。
スロー再生（戻し方向）	◀方向に**ジョイスティック**を倒す。（DVDのみ）
スロー再生（送り方向）	▶方向に**ジョイスティック**を倒す。（DVD/ビデオCDのみ）
早戻し	◀方向に**ジョイスティック**を倒す。
早送り	▶方向に**ジョイスティック**を倒す。
再生	▼方向に**ジョイスティック**を倒す。

※早戻し/早送り/スロー再生は、**ジョイスティック**を倒すごとに速度を変えられます。（5段階）

再び見たい（聞きたい）箇所を記憶する（マーカー） DVD VCD CD

再び見たい（聞きたい）箇所にマークを付けておくと、いつでもそこから再生を始められます。



マークを付ける

1 再生中、
マーカーボタンを押す
（マーカー画面が表示されます）

- マークされていないときは、「＊」が表示されます。



2 記憶したい箇所で、
選択ボタンを押す
（数字が表示されます）

- 最大 5 カ所までマークできます。
- 数字が表示されている箇所で、**選択ボタン**を押すと、前回マークした箇所が消え、新しくマークされます。
- **マーカーボタン**を押すと表示が消えます。



お知らせ

- マーカーを付けた箇所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- 電源を切るか、本機からディスクを取り出すまで、マーク番号は保持されています。
- マーカー機能は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。

マークを付けた箇所を呼び出す／取り消す

1 ジョイスティック（◀▶）で、
マーク番号を選ぶ

- 再生中、マーカー画面が表示されていなければ、**マーカーボタン**を押して、マーカー画面を表示させてください。



■選んだマーク番号を再生するときは

ジョイスティックを ▲ 方向に倒します。
（選んだマーク箇所まで戻り、再生が始まります）

■選んだマーク番号を取り消すときは

取消しボタンを押します。
（選んだマーク箇所が取り消されます）



もっと使う

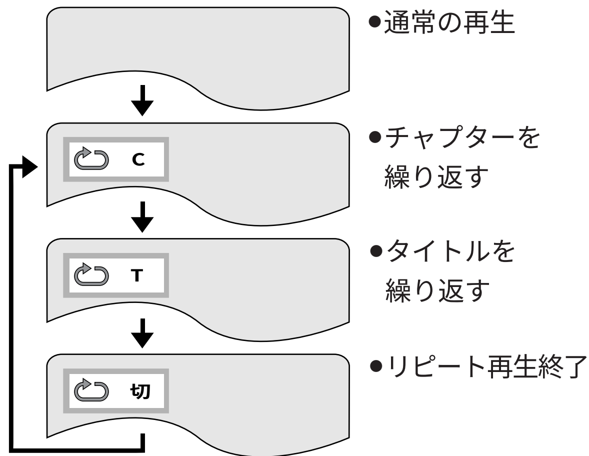
繰り返し再生する（リピート再生／A-B リピート再生）

お気に入りの映像や音声があれば、繰り返して再生することができます。

繰り返し再生する
（リピート再生）

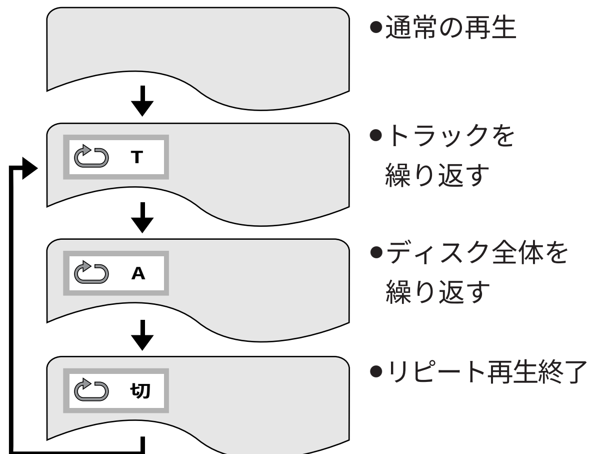
1 再生中、
リピートモードボタンを押す
（押すごとにテレビ画面の表示が切り換わり、それぞれの繰り返し再生を始めます）

■ DVD の場合

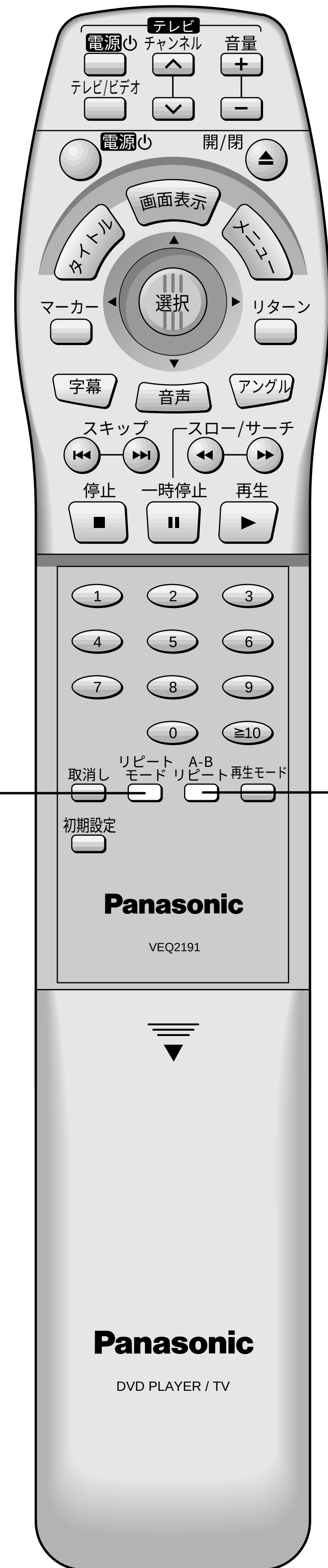


- 通常の再生
- チャプターを繰り返す
- タイトルを繰り返す
- リピート再生終了

■ビデオ CD や音楽 CD の場合



- 通常の再生
- トラックを繰り返す
- ディスク全体を繰り返す
- リピート再生終了



■通常の再生に戻すときは

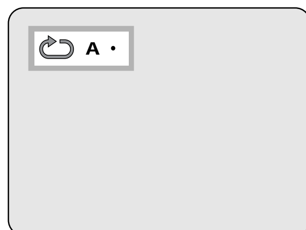
テレビ画面に " 切 " が表示されるまで、**リピートモードボタン**を押します。

お知らせ

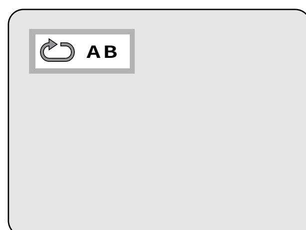
- リピート再生が働かない DVD もあります。
- リピート再生は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。

指定した 2 点間を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

1 再生中、
A-B リピートボタンを押す
（開始場所 A が指定されます）



2 もう一度、
A-B リピートボタンを押す
（終了場所 B が指定され、AB 間の繰り返し再生が始まります）

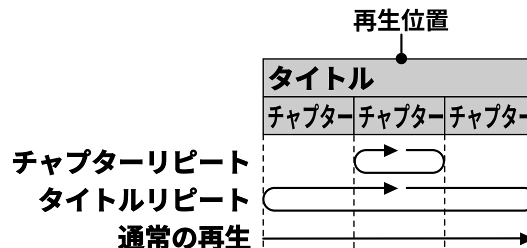


■通常の再生に戻すときは
テレビ画面に " ・・ " が表示されるまで、**A-B リピートボタン**を押します。

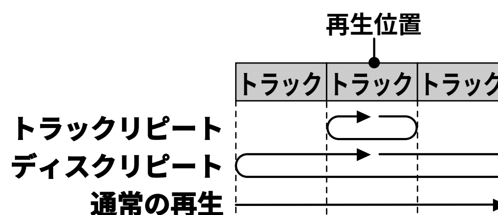
お知らせ
- A-B リピート再生は、インタラクティブな DVD には働きません。
- A-B リピート再生では、AB 間の前後の字幕が表示されないことがあります。
- A-B リピート再生は、同一タイトル（DVD）または、同一トラック（ビデオ CD ／音楽 CD）でのみできます。
- 終了場所 B を指定する前にタイトル／トラックが終了した場合は、タイトル／トラックの終了点が終了場所 B となります。

用語解説

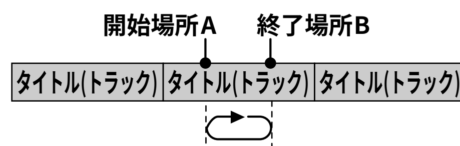
- **チャプター／タイトルリピート再生（DVD）**



- **トラック／ディスクリピート再生（ビデオ CD ／音楽 CD）**

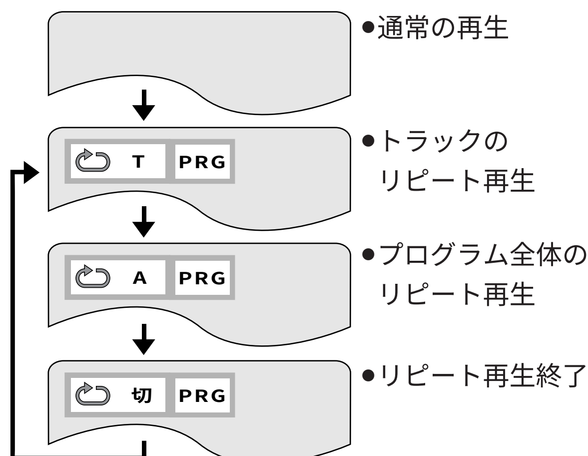


- **A-B リピート再生**



こんなこともできます VCD CD

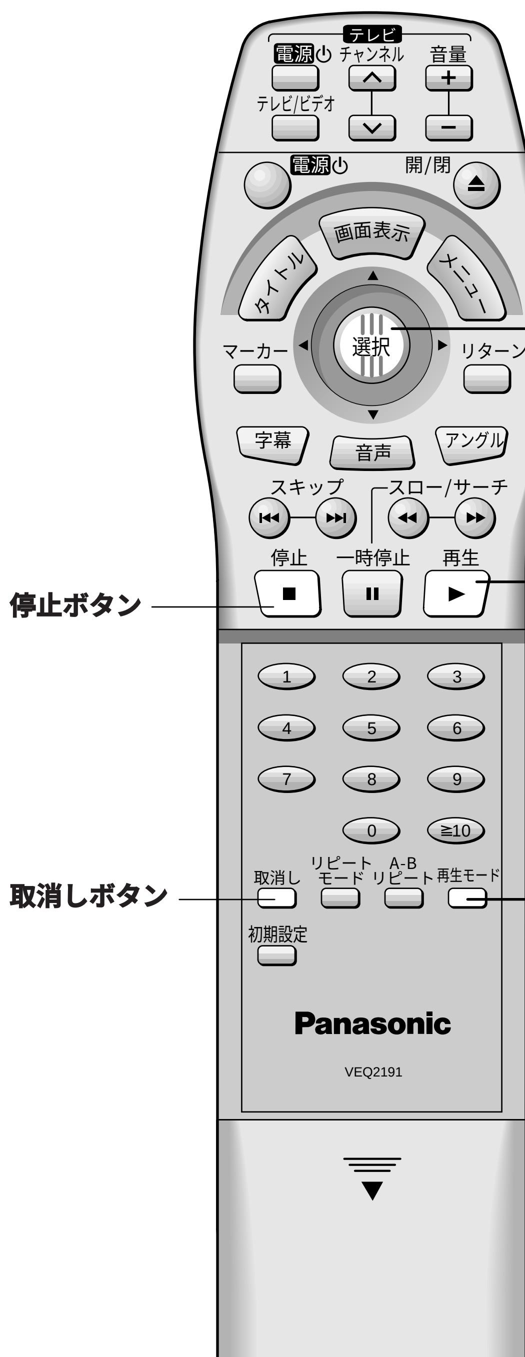
■プログラム再生中にリピート再生をする
プログラム再生（☞34 ページ）中に、**リピートモードボタン**を押すと、演奏中のトラックのリピート再生が始まります。
もう一度、**リピートモードボタン**を押すと、プログラム全体のリピート再生が始まります。
テレビ画面に " 切 " が表示されるまで、**リピートモードボタン**を押すと、プログラム再生に戻ります。



もっと使う

好きな順に再生する（プログラム再生） VCD CD

ビデオ CD や音楽 CD は、トラック番号を予約して、好きな順に再生することができます。



1 停止中、再生モードボタンを 1 回押す

（プログラム選択画面が表示されます）

例）17 曲収録されているディスクの場合

トラック番号を選んでください。
1 7 13
2 8 14
3 9 15
4 10 16
5 11 17
6 12
ラストクリア
オールクリア
プレイボタンでプログラム再生スタート

- プログラム選択画面を消すには、**再生モードボタン**を 2 回押します。

2 ジョイスティック（▲▼◀▶）で、予約したい番号を選ぶ

トラック番号を選んでください。
1 7 13
2 8 14
3 9 15
4 10 16
5 11 17
6 12
ラストクリア
オールクリア
プレイボタンでプログラム再生スタート

3 選択ボタンを押す

（選んだ番号が記憶されます）

トラック番号を選んでください。
1 7 13
2 8 14
3 9 15
4 10 16
5 11 17
6 12
10
ラストクリア
オールクリア
プレイボタンでプログラム再生スタート

- 複数の番号を予約するには、手順 **2**、**3** を繰り返します。
- 最大 18 曲まで予約できます。

4 再生ボタンを押す

（予約した順に再生が始まります）

■予約したすべての再生が終了したときは

停止して、プログラム選択画面に戻ります。

■通常の再生に戻すには

停止ボタンを押してプログラム再生を止め、**再生モードボタン**を 2 回押します。
そのあと、**再生ボタン**を押すと、ディスクの先頭から通常の再生が始まります。（予約番号は保持されます）

■予約を 1 つずつ取り消すには

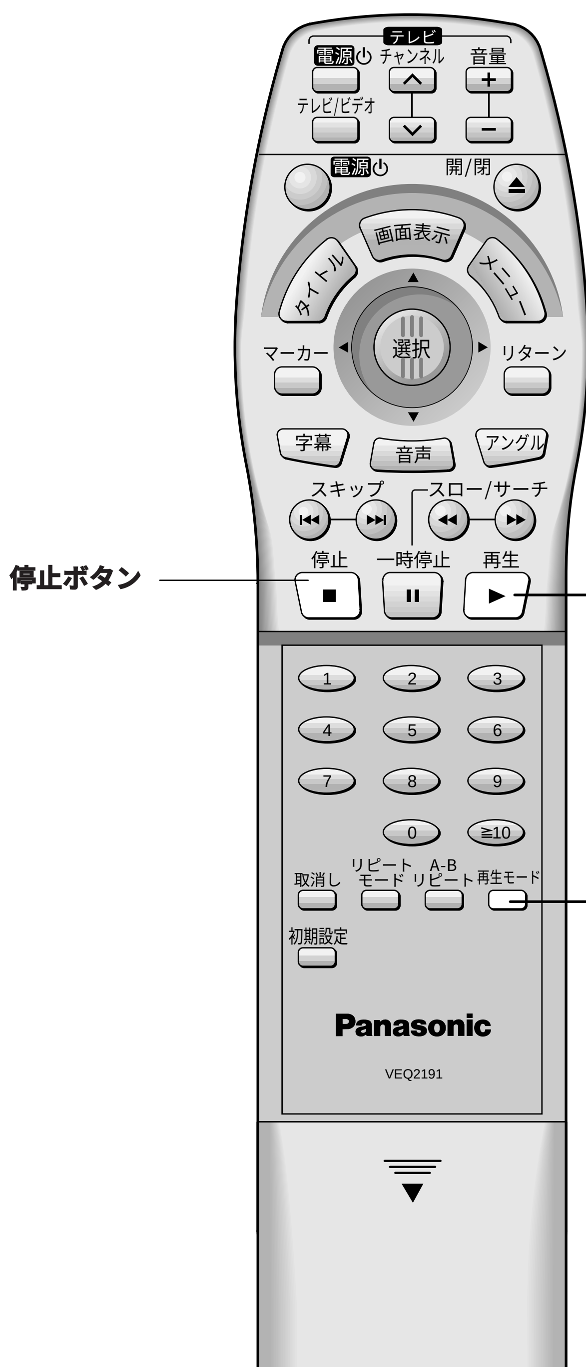
プログラム再生中は**停止ボタン**を 2 回、停止中は**再生モードボタン**を 1 回押して、プログラム選択画面を表示します。**取消しボタン**を押すごとに、最後に予約したものから順に取り消されます。
または、**ジョイスティック**で " ラストクリア " を選び、**選択ボタン**を押します。

■予約をすべて取り消すときは

電源を切るか、本機からディスクを取り出すと、すべて取り消されます。または、**ジョイスティック**で " オールクリア " を選び、**選択ボタン**を押します。

順不同に再生する（ランダム再生） VCD CD

ビデオ CD や音楽 CD はトラック単位で、順不同（ランダム）に再生します。



1 停止中、
再生モードボタンを 2 回押す

（ランダム再生画面が表示されます）

- ランダム再生画面を消すには、**再生モードボタン**を 1 回押します。

ランダム再生
プレイボタンでランダム再生スタート

2 再生ボタンを押す

（順不同に再生が始まります）

■ランダム再生が終了したときは

停止して、ランダム再生画面に戻ります。

■通常の再生に戻すときは

停止ボタンを押してランダム再生を止め、**再生モードボタン**を 1 回押します。
そのあと、**再生ボタン**を押すと、ディスクの先頭から通常の再生が始まります。

マルチ機能を使う

音声言語を切り換える（マルチ音声機能）

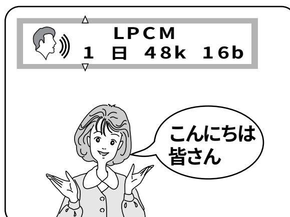
複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中、音声言語を切り換えることができます。

1 再生中、

音声ボタンを押す

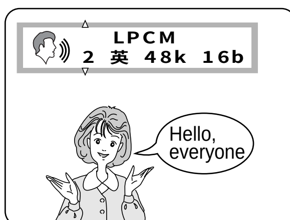
（現在再生中の音声番号が表示されます）

- 音声が記録されていないときは、音声番号が“ – ”で表示されます。

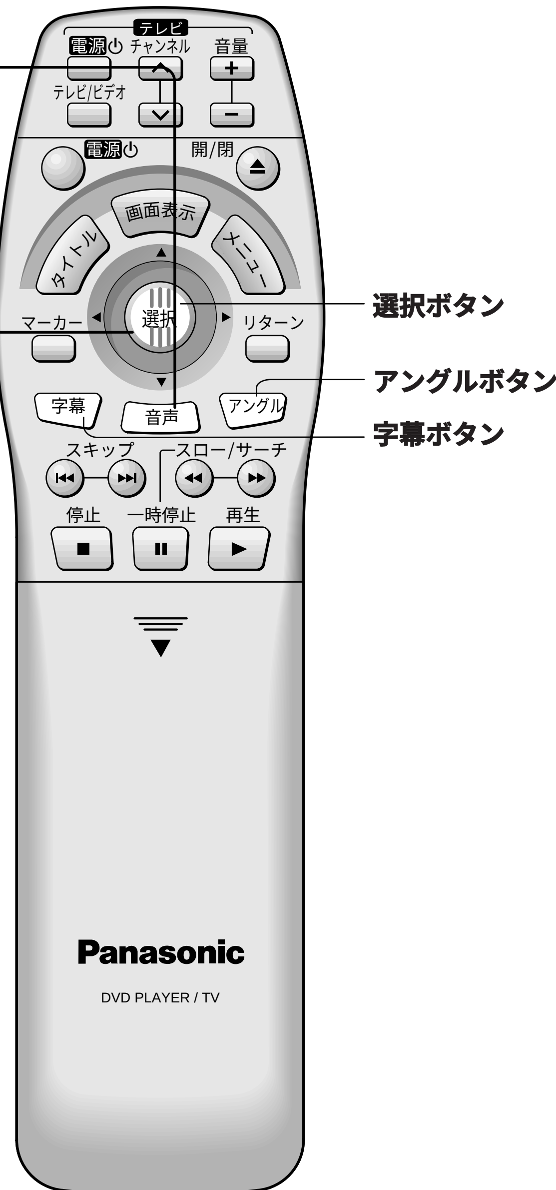


2 ジョイスティック（▲▼）で、

お好みの言語にする



- **音声ボタン**または、**選択ボタン**を押すと、表示が消えます。



お知らせ

- **ジョイスティック**を数回倒しても、希望の言語にならないときは、その言語はディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（☞42ページ）で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。

こんなこともできます DVD VCD

■カラオケソフトのボーカルを「切」「入」する

カラオケソフト再生中に**音声ボタン**を押します。
もう一度、**音声ボタン**を押すと、表示が消えます。
音楽CDは、ボーカルの「切」「入」ができません。

- DVDカラオケ（ソロ）の場合
  ジョイスティック（◀▶）で、ボーカルの「---（切）」「入」が切り換えできます。
- DVDカラオケ（デュエット）の場合
  ジョイスティック（◀▶）で、ボーカルの「---（切）」「1＋2（入）」「V1（入）」「V2（入）」が切り換えできます。
- ビデオCDの場合
  ジョイスティック（▲▼）で、「LR」「L」「R」が切り換えできます。

字幕言語を切り換える
（マルチ字幕機能）

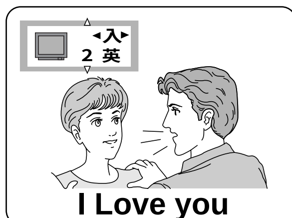
複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中、字幕言語を切り換えることができます。

1 再生中、
字幕ボタンを押す
（現在再生中の字幕番号が表示されます）

● 字幕が記録されていないときは、字幕番号が“ー”で表示されます。



2 ジョイスティック（▲▼）で、
お好みの言語にする



● **字幕ボタン**または、**選択ボタン**を押すと、表示が消えます。

お知らせ

● **ジョイスティック**を数回倒しても、希望の言語にならないときは、その言語はディスクに記録されていません。
● 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（☞42ページ）で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
● 字幕言語を変更しても、その言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

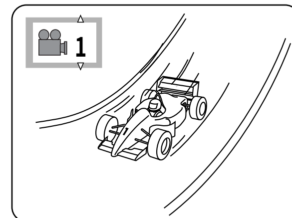
こんなこともできます

■字幕言語を「切」「入」する
ジョイスティック（◀▶）で、字幕の「切」「入」が切り換えできます。

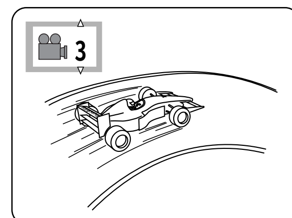
アングル（角度）を切り換える
（マルチアングル機能）

複数のアングルが記録されているDVDは、再生中、アングルを切り換えることができます。

1 再生中、
アングルボタンを押す
（現在再生中のアングル番号が表示されます）



2 ジョイスティック（▲▼）で、
お好みのアングルにする



● **アングルボタン**または、**選択ボタン**を押すと、表示が消えます。

お知らせ

● マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されているタイトルで働きます。
● 複数のアングルが記録されている場面では、本体表示窓に“ANGLE”が点灯し、アングルを切り換えることができます。
●“ANGLE”が点灯していない場合でも、あらかじめアングル番号が指定できるものもあります。
この場合、“ANGLE”が点灯した時点で指定のアングル番号に切り換わります。

メニューを使う

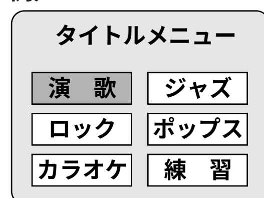
タイトルメニューを使う

複数のタイトルが入っている DVD は、タイトルメニューからお好みのタイトルを選び再生することができます。

1 再生中、
タイトルボタンを押す
（タイトルメニューが表示されます）

●もう一度押すと、タイトルメニューを呼び出した場面まで戻り、そこから再生されます。

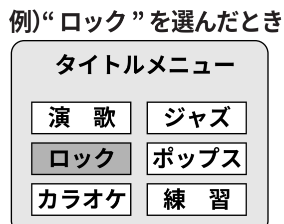
例）



2 ジョイスティックまたは、番号ボタンで、
お好みのタイトルを選ぶ

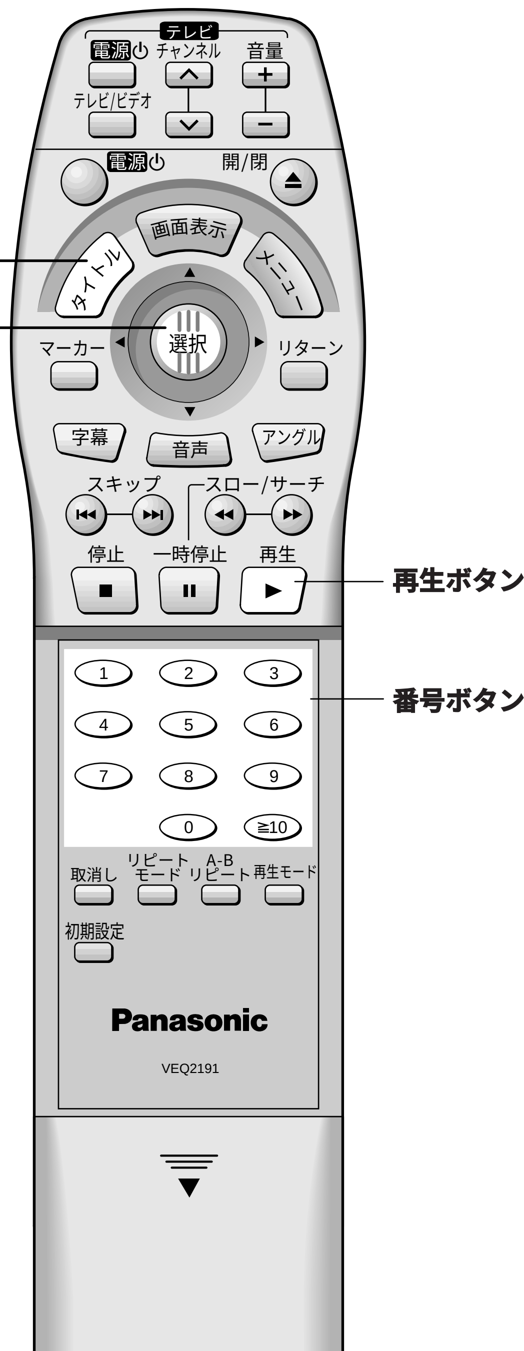
●**番号ボタン**で選んだとき、手順 **3** は不要です。

例）“ ロック ” を選んだとき



3
選択ボタンを押す
（再生が始まります）

●**再生ボタン**を押しても、再生が始まります。



DVD メニューを使う

DVD によっては、DVD メニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。
例えば、複雑な内容で編集された DVD では、ガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録された DVD では、音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを DVD メニューと呼びます。
本書では、DVD メニューの一般的な操作方法を紹介します。

1 再生中、メニューボタンを押す

（DVD メニューが表示されます）

例）

1. ガイドメニュー
2. 音声メニュー
3. 字幕メニュー
4. アングルメニュー
5. ヘルプ

- もう一度押すと、DVD メニューを呼び出した場面まで戻り、そこから再生されます。

2 ジョイスティックまたは、番号ボタンで、項目を選ぶ

- **番号ボタン**で選んだとき、手順 **3** は不要です。

例）“ヘルプ”を選んだとき

1. ガイドメニュー
2. 音声メニュー
3. 字幕メニュー
4. アングルメニュー
5. ヘルプ

3 選択ボタンを押す

（選んだ項目が決定されます）

- 次々とメニューを表示するときは、**2**、**3** の操作を繰り返します。



リモコンでテレビの操作をする

付属のリモコンでテレビの操作をすることができます。



テレビの操作をする

テレビの電源を「切」「入」するときは

電源ボタンを押す

テレビのチャンネルを順に送るときは

チャンネルボタンを押す

∧：順方向
∨：逆方向

テレビの音量を変えるときは

音量ボタンを押す

＋：音量大
－：音量小

テレビの入力を切り換えるときは

テレビ／ビデオボタンを押す

テレビ操作するための準備

1 電源ボタンを押しながら、番号ボタンで、**テレビのメーカー番号（2ケタ）を押す**

番号	メーカー名	番号	メーカー名
01	松下1	10	松下2
02	シャープ2	11	シャープ1
03	ソニー	12	三菱1
04	東芝	13	パイオニア
05	日立	14	ビクター
06	NEC1	15	NEC2
07	三洋1	16	三洋2
08	三菱2	17	松下3
09	富士通		

お知らせ

- 松下など、複数のメーカー番号がある場合、リモコンで実際に動作するメーカー番号を選んでください。
- テレビのメーカーや機種によっては、操作できないものや、使えない操作があります。
- リモコンの電池を交換したときは、メーカー番号の再設定を行ってください。

初期設定を変更する

工場出荷時にあらかじめ設定されている初期設定を変更することができます。
例えば、英語の音声で DVD を再生したいときは、次の操作で「1 ディスク言語」を変更してください。
（初期設定は、電源を切っても、次に変更するまで保持されます）

1

停止中、
初期設定ボタンを押す
（初期設定画面が表示されます）



1 ディスク言語
ディスクに準備されている各種言語が設定できます。（設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選ばれます）

2 視聴制限
お子様などに見せたくない成人向け DVD ソフトの再生が制限できます。
ただし、成人向け DVD でも、ディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合、視聴制限できません。なお、すべての DVD ソフトの再生を禁止することはできます。

3 画面メニュー言語
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される " 再生 " などの言語が設定できます。

4 オンスクリーン
" 再生 " などの表示を、テレビ画面に表示させるか、させないかの設定ができます。

5 FL ディマー
本体表示窓の明るさが設定できます。

6 接続する TV
接続したテレビの画面サイズ（16 ： 9 または 4 ： 3）に応じて設定します。

7 デジタル出力
デジタル音声出力端子から出力される音声が設定できます。

8 プログレッシブ出力の設定
DVD ソフトに記録された映像情報をプログレッシブ出力するための変換モード、ガンマ補正、画面の縦横比が設定できます。

9 エキスパート設定
音声のダイナミックレンジ圧縮など、特殊な設定ができます。



2

ジョイスティック（▲▼）で、
設定する項目を選び、選択ボタンを押す

■ **「1 ディスク言語」**を選択 ☞**42** ページ
■ **「2 視聴制限」**を選択 ☞**44** ページ
■ **「3 画面メニュー言語」**を選択 ☞**46** ページ
■ **「4 オンスクリーン」**を選択 ☞**47** ページ
■ **「5 FL ディマー」**を選択 ☞**48** ページ
■ **「6 接続する TV」**を選択 ☞**49** ページ
■ **「7 デジタル出力」**を選択 ☞**50** ページ
■ **「8 プログレッシブ出力の設定」**を選択 ☞**52** ページ
■ **「9 エキスパート設定」**を選択 ☞**54** ページ

お願い

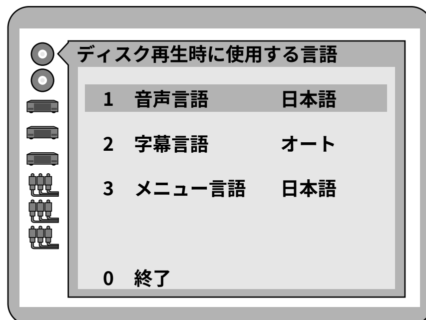
● 「2 視聴制限」で、レベル 0 の「すべて不可」が選ばれているときは、DVD ディスクがセットされている限り、初期設定の「2 視聴制限」を含む全ての項目が変更できません。この場合は、ディスクを取り出してから、ロックを解除してください。

初期設定を変更する（つづき）

「1 ディスク言語」を選んだとき

手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

3 ジョイスティック（▲▼）で、
選択する項目を選び、選択ボタンを押す



1 音声言語
スピーカーから出力される音声言語が設定できます。

2 字幕言語
テレビに表示される字幕言語が設定できます。

3 メニュー言語
タイトルメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語が設定できます。



4 ジョイスティック（▲▼）で、
設定する内容を選び、選択ボタンを押す

■「1 音声言語」を選んだ場合

1 日本語（工場出荷時）
日本語の音声で再生したいとき選びます。

2 英語
英語の音声で再生したいとき選びます。

3 オリジナル
ディスク内の最優先音声で再生したいとき選びます。

4 その他　＊＊＊＊
上記以外の音声で再生したいとき選びます。
番号ボタンで 43 ページの言語番号（4 ケタ）を入力してください。

■「2 字幕言語」を選んだ場合

1 オート（工場出荷時）
音声言語に応じて、字幕言語を自動設定します。
- 音声が「1 音声言語」で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。
- 音声が「1 音声言語」で設定した言語で再生されなかったときは、その言語で字幕を表示します。

2 日本語
日本語の字幕で再生したいとき選びます。

3 英語
英語の字幕で再生したいとき選びます。

4 その他　＊＊＊＊
上記以外の字幕で再生したいとき選びます。
番号ボタンで 43 ページの言語番号（4 ケタ）を入力してください。

■「3 メニュー言語」を選んだ場合

1 日本語（工場出荷時）
日本語の画面で表示したいとき選びます。

2 英語
英語の画面で表示したいとき選びます。

3 その他　＊＊＊＊
上記以外の画面で表示したいとき選びます。
番号ボタンで 43 ページの言語番号（4 ケタ）を入力してください。

▼

設定が終了し、手順 3 の画面に戻ります。

■ 1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
リターンボタンを押す

■初期設定を終了するときは
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

言語番号一覧表

番号	言語名
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーンス
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイマラ
6590	アゼルバイジャン
6665	バシキール
6669	ベロルシア（白ロシア）
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリシャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	（スコットランド）ゲール
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド

番号	言語名
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国（朝鮮）語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリヤ
8065	パンジャブ
8076	ポーランド
8083	パシュト
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア

番号	言語名
8376	スロベニア
8377	サモア
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベク
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

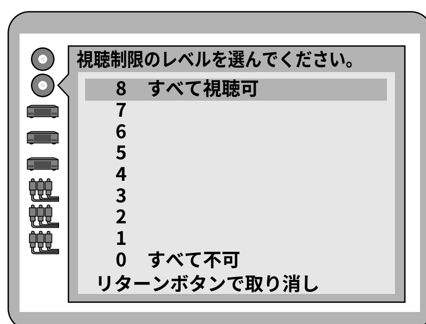
初期設定を変更する（つづき）

「2 視聴制限」を選んだとき

手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

■視聴制限されていない場合（レベル 8）

3 ジョイスティック（▲▼）で、
視聴制限レベルを選び、選択ボタンを押す

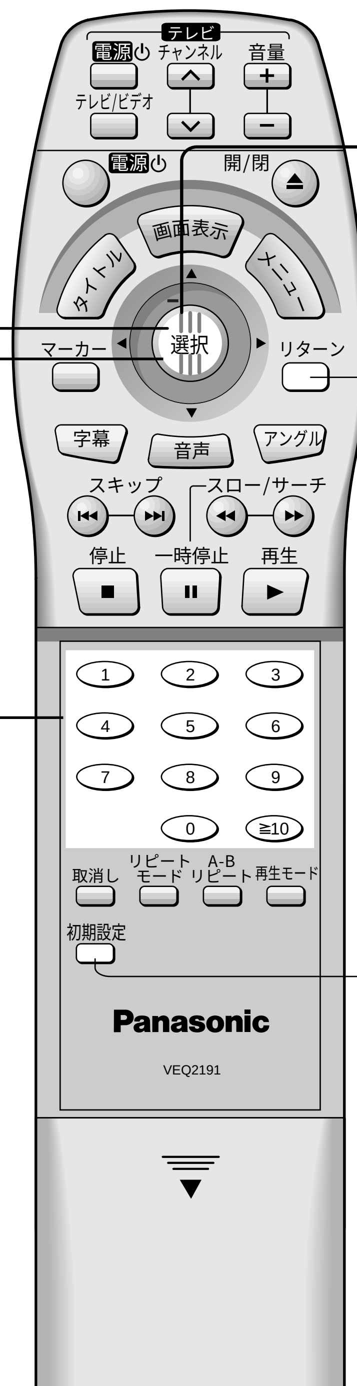


レベル 8（工場出荷時）
すべての DVD ソフト（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選びます。

レベル 7 〜レベル 2
一般向けと子供向けの DVD ソフトのみを再生したいときに選びます。
（成人向け DVD ソフトの再生を禁止します）

レベル 1
子供向けの DVD ソフトのみを再生したいときに選びます。
（成人向けと一般向けの DVD ソフトの再生を禁止します）

レベル 0
すべての DVD ソフトの再生を禁止したいとき選びます。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向け DVD ソフトの再生を禁止したいときなど。



リターンボタン

初期設定ボタン

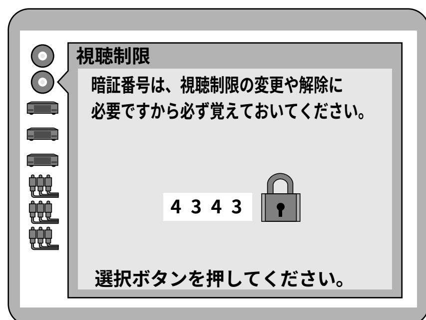
4 レベル 7 以下を選んだときは、番号ボタンで、
暗証番号（4 ケタ）を入力し、選択ボタンを押す

- 暗証番号は、忘れないようにしてください。
- ロックすると、正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できなくなります。

例）「レベル 7」を選んだ場合



5 選択ボタンを押す



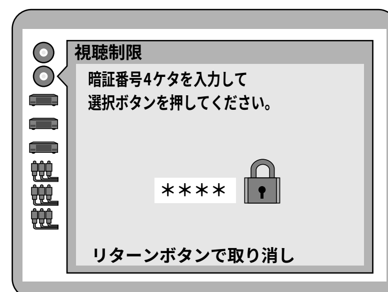
設定が終了し、初期設定画面（☞41 ページ手順 1）に戻ります。

■ 1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
リターンボタンを押す

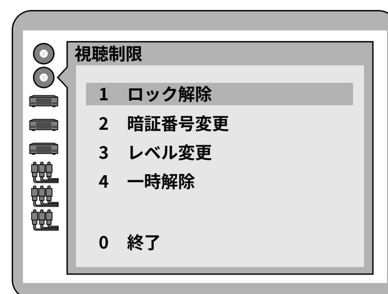
■初期設定を終了するときは
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

■視聴制限されている場合（レベル 0 ～ 7）

3 番号ボタンで、正しい暗証番号を入力し、選択ボタンを押す



4



■視聴制限を解除するときは
番号ボタンの **1** を押し、**選択ボタン**を押す

■暗証番号を変更するときは
1. **番号ボタン**の **2** を押す
2. **番号ボタン**で暗証番号を入力し、**選択ボタン**を押す
3. **選択ボタン**を押す

■視聴制限レベルを変更するときは
1. **番号ボタン**の **3** を押す
2. **ジョイスティック（▲▼）**でレベルを選び、**選択ボタン**を押す

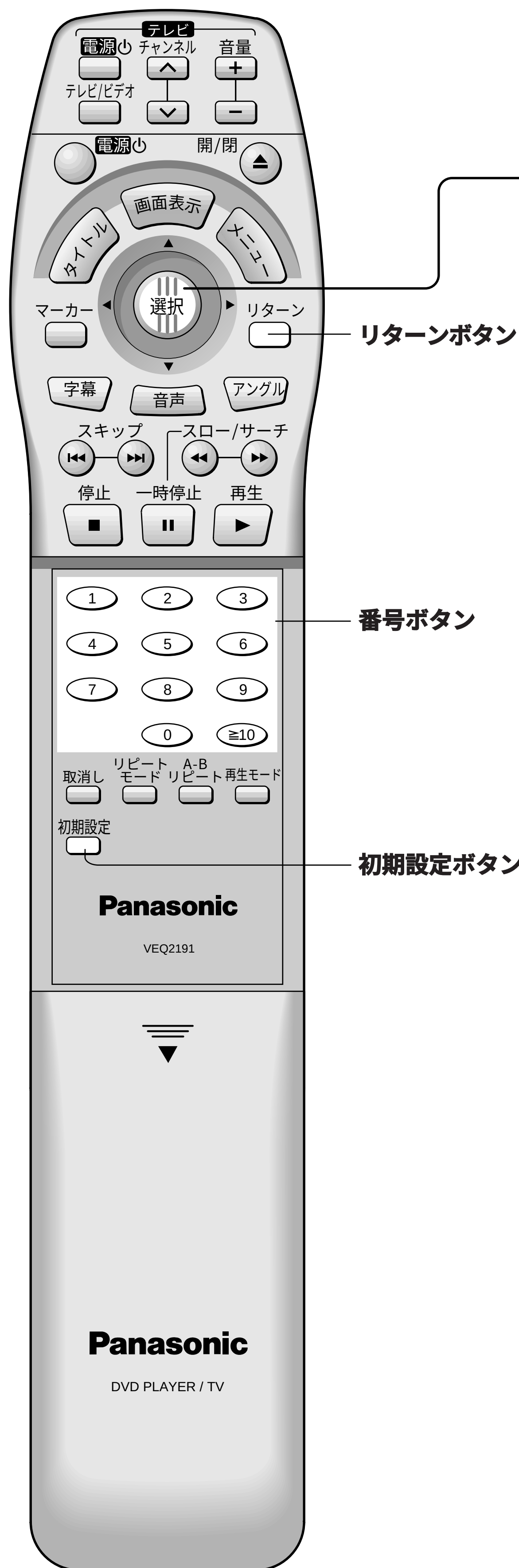
■視聴制限レベルを一時的に解除するときは
1. **番号ボタン**の **4** を押す
2. **選択ボタン**を押す
- この一時解除の状態は、電源を切るか、ディスクを取り出せば、元のロック状態に戻ります。

■視聴制限レベルを変更せず終了するときは
番号ボタンの **0** を押す

設定が終了し、初期設定画面（☞41 ページ手順 1）に戻ります。

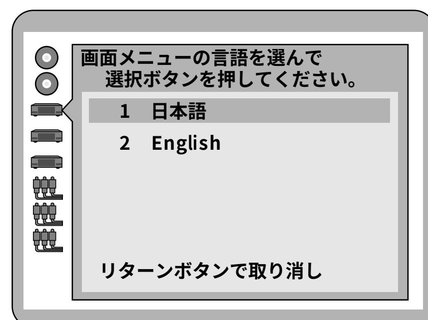
初期設定を変更する（つづき）

「3 画面メニュー言語」を選んだとき



手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

3 ジョイスティック（▲▼）で、
画面メニュー言語を選び、選択ボタンを押す



1 日本語（工場出荷時）
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される " 再生 " などの言語を日本語に設定します。

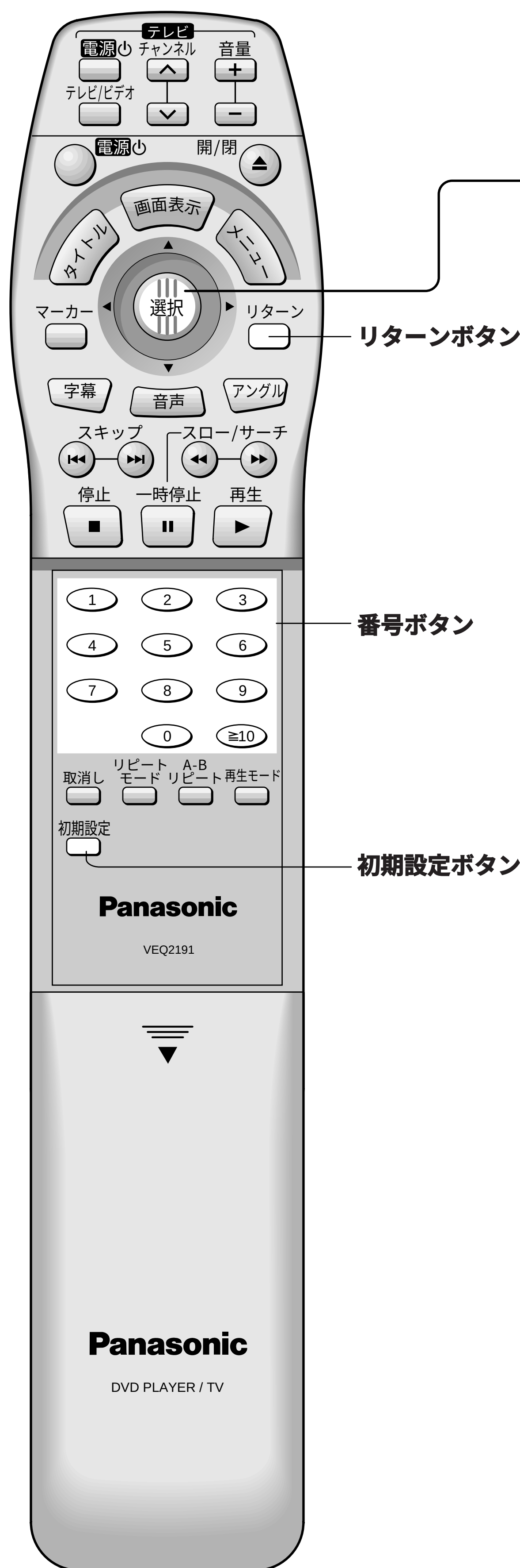
2 English
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される " 再生 " などの言語を英語に設定します。

設定が終了し、初期設定画面（☞41 ページ手順 1）に戻ります。

■ **1 つ手前のメニュー画面に戻すときは**
リターンボタンを押す

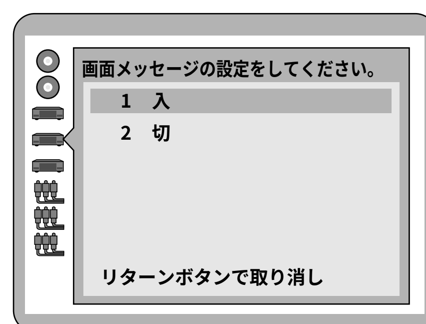
■**初期設定を終了するときは**
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

「4 オンスクリーン」を選んだとき



手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

3 ジョイスティック（▲▼）で、
画面メッセージの「入」「切」を選び、選択ボタンを押す



1 入（工場出荷時）
“ 再生 ” や “ 停止 ” などの表示が常にテレビ画面に出るよう設定します。

2 切
“ 再生 ” や “ 停止 ” などの表示が常にテレビ画面に出ないよう設定します。

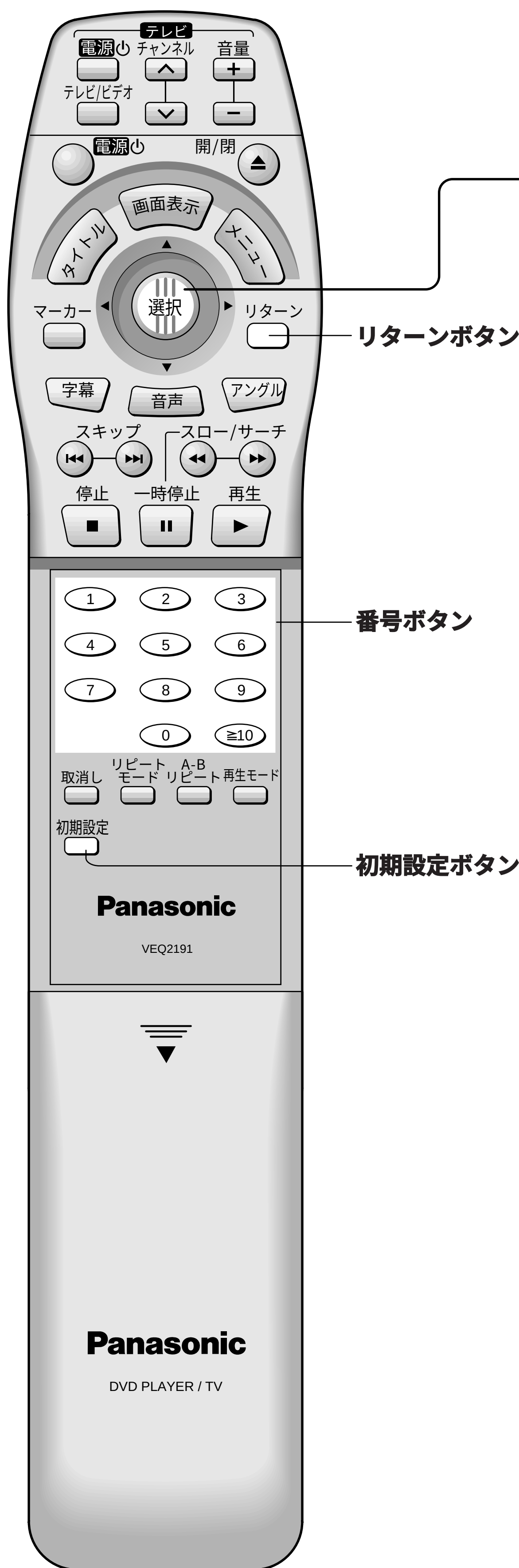
設定が終了し、初期設定画面（☞41 ページ手順 1）に戻ります。

■ **1 つ手前のメニュー画面に戻すときは**
リターンボタンを押す

■**初期設定を終了するときは**
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

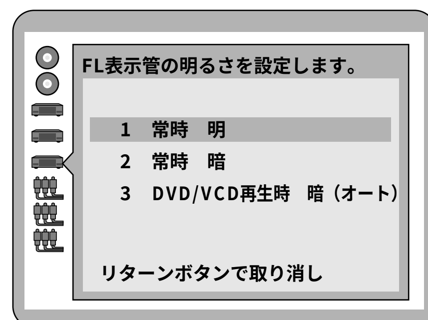
初期設定を変更する（つづき）

「5　FL ディマー」を選んだとき



手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

3 ジョイスティック（▲▼）で、
本体表示窓の明るさを選び、選択ボタンを押す



1 常時　明（工場出荷時）
表示窓の表示が常に明るいように設定します。

2 常時　暗
表示窓の表示が常に暗いように設定します。

3 DVD/VCD 再生時　暗（オート）
DVD やビデオ CD の再生時のみ、表示窓の表示が暗くなるよう設定します。
スロー再生、早送り/早戻し中は、一時的に明るくなります。

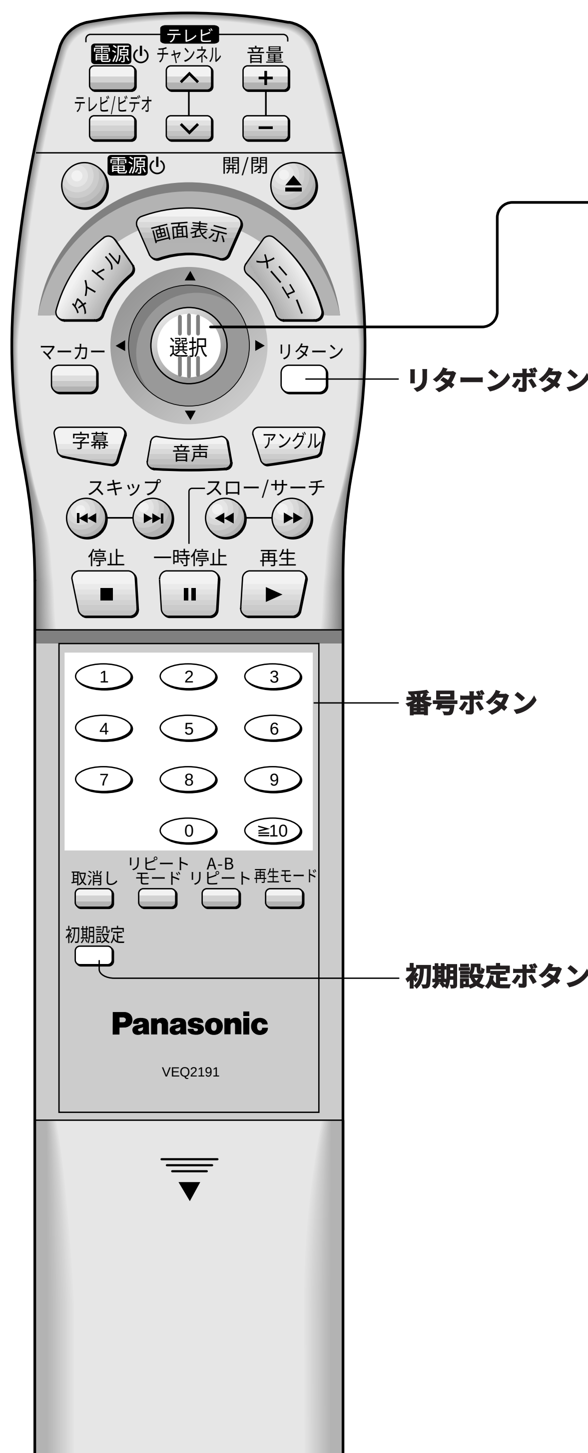
▼

設定が終了し、初期設定画面（☞41 ページ手順 1）に戻ります。

■ **1 つ手前のメニュー画面に戻すときは**
リターンボタンを押す

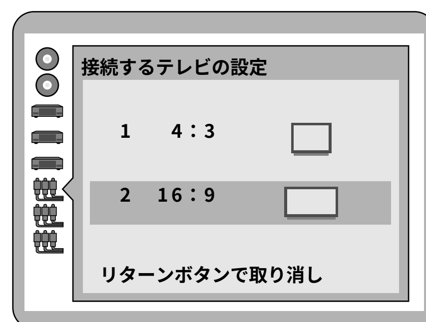
■**初期設定を終了するときは**
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

「6 接続するTV」を選んだとき



手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

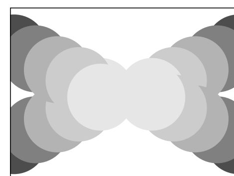
3 ジョイスティック（▲▼）で、
接続したテレビの画面サイズを選び、選択ボタンを押す



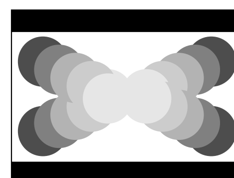
1 4：3

従来サイズのテレビに接続したときに選びます。

- パン＆スキャン指定されたワイドソフトは、パン＆スキャン画面（左右の切れた画面）で再生されます。

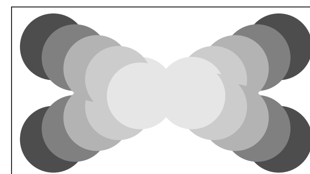


- パン＆スキャン指定のないワイドソフトは、レターボックス画面（上下に黒い帯のある画面）で再生されます。



2 16：9（工場出荷時）

ワイドテレビに接続したときに選びます。
ワイドソフトは、フル画面で再生されます。
（ワイドテレビの画面モードを「フル」に設定してください）



設定が終了し、初期設定画面（☞41 ページ手順 1）に戻ります。

■ **1 つ手前のメニュー画面に戻すときは**
リターンボタンを押す

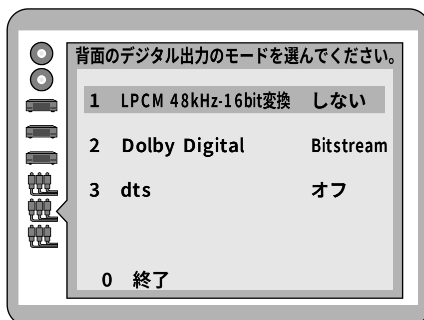
■**初期設定を終了するときは**
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

初期設定を変更する（つづき）

「7 デジタル出力」を選んだとき

手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

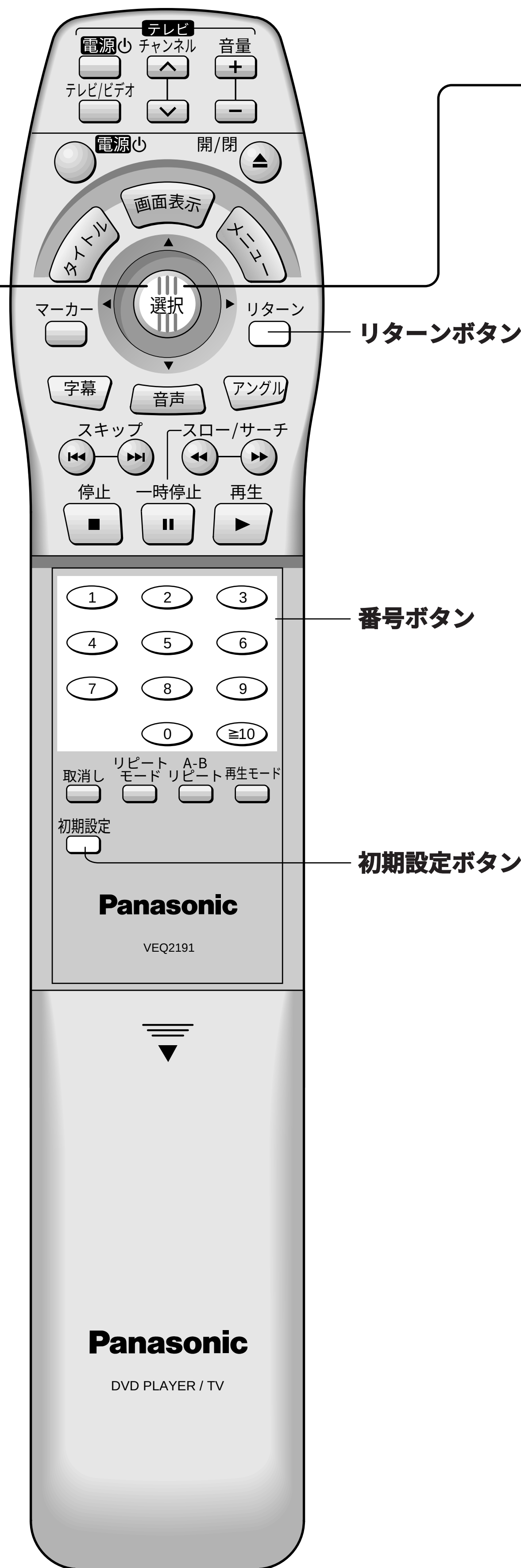
3 ジョイスティック（▲▼）で、音声出力の種類を選び、選択ボタンを押す



1 LPCM 48kHz-16bit 変換
リニア PCM で記録された DVD の再生時に、デジタル音声出力端子（光／同軸）から 48kHz/16bit に変換して出力するか、しないかを選ぶことができます。

2 Dolby Digital
ドルビーデジタル（AC-3）で記録された DVD の再生時に、デジタル音声出力端子（光／同軸）から出力される信号形式（Bitstream/PCM）を選ぶことができます。

3 dts
dts で記録された DVD の再生時に、デジタル音声出力端子（光／同軸）から dts ビットストリームを出力するか、しないかを選ぶことができます。



■ **1 つ手前のメニュー画面に戻すときは**
リターンボタンを押す

■ **初期設定を終了するときは**
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

4 ジョイスティック（▲▼）で、設定する内容を選び、選択ボタンを押す

■「1 LPCM 48kHz-16bit変換」を選んだ場合

1 しない（工場出荷時）

- 48kHz/16bit で記録されたリニア PCM 音声のみデジタル出力します。
- 48kHz/20bit/24bit、96kHz のリニア PCM 音声で記録された DVD の再生時は、デジタル出力しません。
- ただし、著作権保護のための処理がされていない DVD の場合には、そのままの音声記録方式で出力されます。

2 する

48kHz/20bit/24bit、96kHz のリニア PCM 音声で記録された DVD の再生時は、48kHz/16bit に変換しデジタル出力します。
（PCM 音声のデジタル出力は、著作権への配慮から 48kHz/16bit 以下となります）

■「2 Dolby Digital」 を選んだ場合

1 Bitstream（工場出荷時）

ドルビーデジタル（AC-3）で記録された DVD の再生時は、ドルビーデジタル（AC-3）ビットストリーム（1ch～5.1ch）音声を出力します。ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを接続するとき選びます。

2 PCM

ドルビーデジタル（AC-3）で記録された DVD の再生時は、48kHz/16bit の PCM（2ch）に変換して出力します。

■「3 dts」を選んだ場合

1 オフ（工場出荷時）

dts で記録された DVD の再生時は、デジタル出力しません。

2 Bitstream

dts で記録された DVD の再生時は、dts ビットストリーム（1ch～5.1ch）音声を出力します。dts デコーダーを接続するとき選びます。

設定が終了し、手順 3 の画面に戻ります。

■「デジタル出力」の推奨設定について

デジタル音声出力端子に接続する機器により、「デジタル出力」の設定が異なります。
下表を参考に設定してください。

デジタル音声出力端子	「7 デジタル出力」の設定		
	1 LPCM 48kHz-16bit 変換	2 Dolby Digital	3 dts
デジタル音声出力端子に、機器を接続しない場合	**1 しない（工場出荷時）**	**1 Bitstream（工場出荷時）**	**1 オフ（工場出荷時）**
デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダーを内蔵していないデジタル音声入力端子付アンプを接続する場合（☞22 ページ）	**2 する** ＜注 1＞	**2 PCM** ＜注 2＞	**1 オフ（工場出荷時）** ＜注 2＞
デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを接続する場合（☞23 ページ）	**2 する** ＜注 1＞	**1 Bitstream（工場出荷時）**	**1 オフ（工場出荷時）**
デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダーを接続する場合（☞23 ページ）	**2 する** ＜注 1＞	**1 Bitstream（工場出荷時）**	**2 Bitstream**

＜注 1＞本機の音声出力端子から出力される音声は、デジタル音声出力端子同様、48kHz/16bit に変換されます。48kHz/20bit/24bit、96kHz の高音質ソフトを楽しみたいときは、アンプやデコーダー等の機器をデジタル音声出力端子に接続せず（「1 LPCM 48kHz-16bit 変換」を「しない」に設定）、直接音声出力端子に接続してください。

＜注 2＞ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー／dts デコーダー以外の機器を接続するときは、「2 Dolby Digital」を「PCM」に、「3 dts」を「オフ」に設定してください。「Bitstream」に設定すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

初期設定を変更する（つづき）

「8 プログレッシブ出力の設定」を選んだとき

手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

お知らせ

- 設定内容は、525P（480P）映像入力に対応の機器と接続したときのみ働きます。（☞18 ページ）

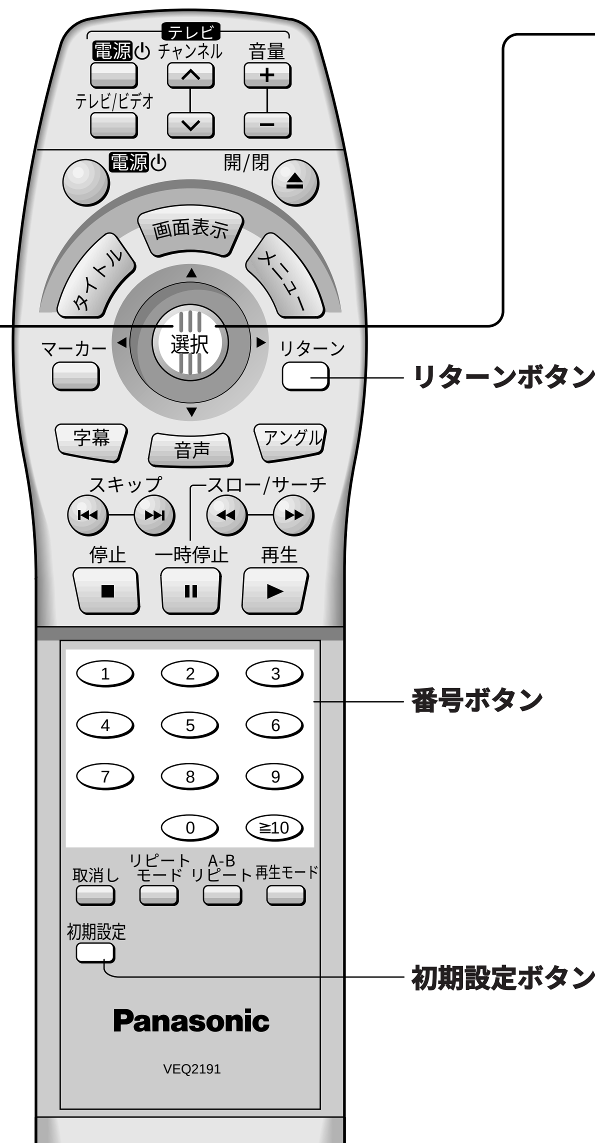
3 ジョイスティック（▲▼）で、
設定する項目を選び、選択ボタンを押す



1 **変換モード**
DVD ソフトに記録された映像情報を、プログレッシブ出力するための変換モードが設定できます。

2 **ガンマ選択**
ガンマ補正の度合いが 3 段階で設定できます。

3 **4 ： 3 出力**
プログレッシブ方式で再生する画面の縦横比が設定できます。



■ DVD ソフトの映像情報について

DVD ソフトの映像情報は、以下の 2 通りが一般的です。

フィルム素材	フィルムのイメージが 24 コマ／秒で記録されているもの※1
ビデオ素材	映像情報が 30 コマ／秒で記録されているもの

DVD ソフトの種類によっては、フィルム素材とビデオ素材とが混在して記録されたものもあります。

※1 映画撮影で使われるフィルムには、24 コマ／秒で画像が記録されています。

- 映画ソフトのなかには、ビデオ素材として記録されたものがあります。このような DVD ソフトを「オートモード」で再生した場合、自動的に「ビデオモード」になります。従って、ダイレクトシネマプログレッシブインジケーターは点灯しません。

お願い

- DVD ソフトのなかには、フィルム素材とビデオ素材とが混在して記録されたものもあります。このようなソフトを「オートモード」で再生すると、何度か画面が途切れることがあります。この場合は、設定を「ビデオモード」にしてください。

4 ジョイスティック（▲▼）で、設定する内容を選び、選択ボタンを押す

■「1　変換モード」を選んだ場合

1　オートモード（工場出荷時）
通常は、「オートモード」を選びます。
「オートモード」は、DVD ソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
（フィルムモードで出力する場合は、本機のダイレクトシネマプログレッシブインジケーターが点灯します）

2　ビデオモード
DVD ソフトに記録された映像情報をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。ビデオ素材として記録された DVD ソフトの再生に適したモードです。

3　フィルムモード
フィルム素材として記録された DVD ソフトの再生時、フィルムの各コマを、独立した 3 フレームと 2 フレームのプログレッシブ映像に変換します。プログレッシブ出力のメリットを十分に生かすことのできる、フィルム素材に適したモードです。
（本機のダイレクトシネマプログレッシブインジケーターが点灯します）

■「2　ガンマ選択」を選んだ場合

1　モード 1（工場出荷時）　：ガンマ補正弱
2　モード 2　：ガンマ補正中
3　モード 3　：ガンマ補正強

● モード 1（工場出荷時）からモード 3 へと、ガンマ補正の度合いが強くなります。

■「3　4 ： 3 出力」を選んだ場合

1　フル（工場出荷時）
ワイドソフトを再生するときに使います。ワイドソフトはフル画面で再生されます。
4 ： 3 の画像ソフトは、左右方向に引き伸ばされた画面で再生されます。

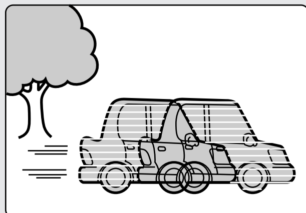
2　ノーマル
4 ： 3 の画像ソフトを再生するときに使います。左右に黒い帯のある画面で再生されます。
パン＆スキャン指定のないワイドソフトは、上下左右に黒い帯のある画面で再生されます。

▼

設定が終了し、手順 3 の画面に戻ります。

お願い

● DVD ソフトには、各フレームごとに再生のための出力方式（プログレッシブ／インタレース）フラグが記録されていますが、ソフトによっては、このフラグが部分的に正しく記録されていないものがあります。このようなソフトは、インタレース方式のプレーヤーでは問題なく再生できますが、本機のプログレッシブ出力では「オートモード」または「フィルムモード」で再生すると、下図のように映像の一部が二重にブレて見えることがあります。
この場合は、「1 変換モード」の設定を「ビデオモード」にしてください。



用語解説

● **ガンマ補正**
陰影に富んだシーンが多い映画ソフトなどで、テレビ画面上の最も黒い部分と白い部分の明度を保ったまま中間調の明度をあげることで、暗いシーンでもディティールをつぶさず、階調豊かに映像を再現します。

■ 1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
リターンボタンを押す

■初期設定を終了するときは
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

初期設定を変更する（つづき）

「9 エキスパート設定」を選んだとき

手順 **1**、**2** は 41 ページをお読みください。

3 ジョイスティック（▲▼）で、
設定する項目を選び、
選択ボタンを押す



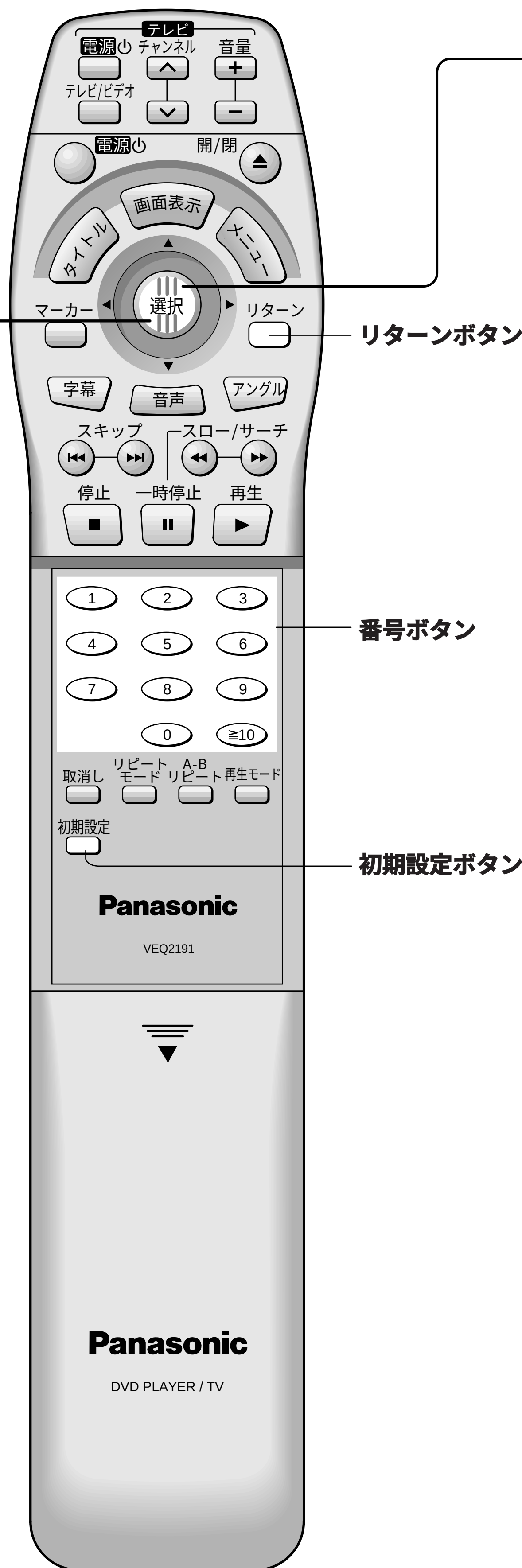
1 スチルモード
静止中の画面に発生する画像のブレをおさえるよう設定できます。

2 早送り 1 の時の音
早送り 1 速時の音声の有無が設定できます。

3 TV モード（4 ： 3）
従来サイズのテレビで、ワイドソフトを再生したときのテレビ画面表示が設定できます。

4 音声のダイナミックレンジ圧縮
ディスクを再生したときに出力される音の音域が設定できます。

5 S 端子出力 S1/S2 のモード
S 映像出力端子 S1/S2 から出力される映像信号の切り換えが設定できます。



■ **1 つ手前のメニュー画面に戻すときは**
リターンボタンを押す

■**初期設定を終了するときは**
初期設定画面（☞41 ページ手順 **1**）で、**初期設定ボタン**または、**番号ボタン**の **0** を押す

4 ジョイスティック（▲▼）で、設定する内容を選び、選択ボタンを押す

■「1 スチルモード」を選んだ場合

1 オート（工場出荷時）
通常は「オート」を選びます。
フレームスチルモードまたはフィールドスチルモードを自動的に切り換えます。

2 フィールド
強制的にフィールドスチルモードにします。
「オート」設定時に、画像のブレが発生するとき選びます。

■「2 早送り 1 の時の音」を選んだ場合

1 あり（工場出荷時）
早送り 1 速時に音を出したいとき選びます。
（雑音が気になるときは「なし」を選んでください）

2 なし
早送り 1 速時に音を消したいとき選びます。

■「3 TV モード（4:3)」を選んだ場合

1 パン＆スキャン（工場出荷時）
ワイドソフトを再生したときにパン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生したいとき選びます。ただし、パン＆スキャン指定されていないソフトは、レターボックスで再生されます。

2 レターボックス
ワイドソフトを再生したときにレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生したいとき選びます。

■「4 音声のダイナミックレンジ圧縮」を選んだ場合

1 切（工場出荷時）
標準的な音域に設定します。

2 入
小さな音量でも迫力のある音にしたいときに選びます。
ダイナミックレンジ圧縮は、音声信号のダイナミックレンジ（再生レベルの範囲）を狭くする機能です。深夜に映画を楽しむときなど、大音量を控えたいときに使います。（ドルビーデジタルで記録された DVD の再生中に限ります）

■「5 S 端子出力 S1/S2 のモード」を選んだ場合

1 S1（工場出荷時）
テレビの S 映像入力端子または S1 映像入力端子に接続しているときに選びます。
S 映像出力端子 S1/S2 から S1 映像信号が出力されます。［ワイド画面（16 : 9）の映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的に「フル」モードに切り換わります］

2 S2
テレビの S2 映像入力端子に接続しているときに選びます。
S 映像出力端子 S1/S2 から S2 映像信号が出力されます。（S1 の機能に加えて、レターボックスの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的に「ズーム」モードに切り換わります）

▼

設定が終了し、手順 3 の画面に戻ります。

■フレーム（スチル）／フィールド（スチル）について［525I（インタレース出力）の場合］

フレーム（使用走査線 525 本）	フィールド（使用走査線 262.5 本）
ビデオやテレビの 1 コマ 1 コマの画像が“ フレーム ” です。	1 フレームの半分の映像情報（ビデオ信号）が“ フィールド ” です。通常のテレビでは、2 フィールドで 1 フレーム（1 画面）を構成しています。
フレームスチル	**フィールドスチル**
テレビ画面上で 2 フィールドが交互に映し出されるので、画像はブレを生じますが、フィールドスチル画像とくらべると画質はよくなります。	テレビ画面上で 1 フィールド（半分の映像情報）のみ映し出されるので、見た目は粗くなりますが、画像はブレを生じません。

● フレームスチルは、プログレッシブ出力の場合ブレを生じません。

困ったとき!?

次の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。(☞58ページ)

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない。	● 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	18
勝手に電源が切れる。	● 停止状態で約30分経過すると、節電のため、自動的に電源が切れます（オートパワーオフ)。再度電源を入れ直してください。	25
再生ボタンを押しても、再生が始まらない。 または、すぐに停止する。	● 露付きが発生している。（1～2時間放置してください） ● ＤＶＤ、ビデオＣＤ、音楽ＣＤ以外のディスクは再生できません。 ● ディスクがよごれているので、きれいにふいてください。 ● ラベル印刷面を上にして、正しく入れてください。	ー 5 11 24
映像が映らない。	● 接続を確認してください。 ● テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。	18～20 24
音が聞こえない。 または、聞きづらい。	● 接続を確認してください。 ● テレビ、ステレオなどの入力切換を正しくしてください。	18～23 ー
ビデオＣＤのメニュー再生ができない。	● プレイバックコントロール付きビデオＣＤ以外は、メニュー再生できません。	25
早送り／早戻しをしたら画像が乱れる。	● 多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	ー
各ボタン操作ができない。	● ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 ● 電源ボタンを一度、「切」「入」してください。 または、電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込んでください。 （落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります）	25 ー
字幕が出ない。	● 字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ● 字幕が「切」になっている場合は、字幕を「入」にしてください。	ー 37
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。 ● 音声（または字幕）切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	ー 39
アングルを変えて見ることができない。	● 複数のアングルが記録されていないDVDはアングルを切り換えることができません。また、複数のアングルは特定の場面（再生中なら本体表示窓に“ANGLE”が点灯）のみ記録されているものがあります。	37
タイトルを選んでも再生が始まらない。	● 初期設定の「2 視聴制限」の設定を確認してください。	44
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を、工場出荷時設定に戻す。	● 以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 停止状態で、本体の一時停止ボタンとスキップボタン（戻し方向）を押しながら、電源ボタンを3秒以上押し続けてください。 （テレビ画面の“オールクリア”が消えたことを確認してください）	ー
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは、選んでいる言語になりません。	42
16：9（4：3）の画像で映らない。	● お手持ちのテレビに合わせて、「6 接続するTV」の項目を正しく設定してください。	49

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
ボタン操作したとき、画面メッセージが出ない。	● 初期設定の「4 オンスクリーン」を「入」にしてください。	47
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	● 初期設定の「1 ディスク言語」の「3 メニュー言語」を確認してください。	42
リモコンで操作できない。	● 停止状態で約30分経過すると、節電のため、自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。再度電源を入れ直してください。 ● 乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れてください。 ● 乾電池が消耗しているので、新しいものに交換してください。 ● リモコン受信部に向けて操作してください。 ● リモコン受信部との距離が7m以内のところで操作してください。 ● リモコン受信部との間にある障害物を取り除いてください。	25 15 15 15 15 15
リモコンでテレビの操作ができない。	● メーカーや機種によっては、操作ができないテレビや、行えない操作があります。	40
テレビ画面にGUI画面が表示されない。（または一部しか表示されない。）	● テレビに付属の説明書を参照し、適切なテレビ画面の種類を選んでください。	28
プログレッシブ出力時に、映像が途切れたり、ブレたりする。	● 初期設定の「8 プログレッシブ出力の設定」を確認してください。DVDソフトによっては、「1 変換モード」で「オートモード」に設定すると、プログレッシブ出力で正しく再生されないものもあります。このような場合は、「1 変換モード」を「ビデオモード」にしてください。	52

サービス番号が表示されたら

本機は使用中に異常を検出すると、表示窓にサービス番号を表示します。

サービス番号	本機の状態	処置のしかた
U11	● ディスクがよごれている。	● きれいにふく。 （処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください）
H□□ □□は数字を表示します	● 異常と思われます。「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります。	● 電源ボタンを一度、「切」「入」してみる。 または電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込む。 （処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください）

■処置をされても「サービス番号」を表示するときは‥‥‥

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞59ページ）に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは‥‥‥

表示窓のサービス番号をお知らせください。

（例）「H01」と表示しているときは、**「サービス番号、H 01」**とお知らせください！

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

56、57 ページの「困ったとき!?」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、DVD/CD プレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

ナショナル／パナソニック
お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） 0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時



Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ **0570-087-087**



●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北 海 道 地 区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東 北 地 区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (0177)39-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市泉区市名坂字清水端59-2	☎ (022)375-2512
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首 都 圏 地 区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2551
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中 部 地 区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近 畿 地 区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部町6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中 国 地 区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四 国 地 区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (0886)98-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (0888)66-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九 州 地 区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖 縄 地 区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0999

定 格

電源	AC100 V　　50／60 Hz
消費電力	25 W（電源ボタンまたはリモコンで電源「切」のとき、約 1.5 W）

信号方式	NTSC		
質量	16.6 kg		
外形寸法	430（幅）× 391（奥行）× 112.5（高さ）mm、突起物を含まず		
許容周囲温度	+ 5 ～ 35 ℃		
許容相対湿度	5 ～ 90 % RH（結露なきこと）		
対応ディスク	（1）DVD－VIDEO ディスク 12 cm 片面 1 層　8 cm 片面 1 層 12 cm 片面 2 層　8 cm 片面 2 層 12 cm 両面（各面 1 層）　8 cm 両面（各面 1 層） （2）コンパクトディスク（CD－DA、VIDEO CD） 12 cm ディスク、8 cm ディスク		
525P(480P) 映像出力	Y 出力レベル	：	1 Vp-p（75 Ω）、緑
	P_B 出力レベル	：	0.7 Vp-p（75 Ω）、青
	P_R 出力レベル	：	0.7 Vp-p（75 Ω）、赤
	出力端子	：	ピンジャック
コンポーネント映像出力	Y 出力レベル	：	1 Vp-p（75 Ω）、緑
	C_B 出力レベル	：	0.7 Vp-p（75 Ω）、青
	C_R 出力レベル	：	0.7 Vp-p（75 Ω）、赤
	出力端子	：	ピンジャック
S 映像出力	Y 出力レベル	：	1 Vp-p（75 Ω）
	C 出力レベル	：	0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子	：	S 端子
	端子数	：	2 系統
映像出力	出力レベル	：	1 Vp-p（75 Ω）
	出力端子	：	ピンジャック
	端子数	：	1 系統

音声出力	出力レベル	：	2 Vrms（1 kHz、0 dB）
	出力端子	：	ピンジャック
	端子数	：	2 系統
音声出力特性	（1）周波数特性 ●DVD（リニア音声） 2 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング） 2 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング） ●CD　2 Hz ～ 20 kHz（EIAJ） （2）S／N 比 ●CD　116 dB（EIAJ） （3）ダイナミックレンジ ●DVD（リニア音声）　110 dB ●CD　100 dB（EIAJ） （4）全高調波歪率 ●CD　0.0015 %（EIAJ）		
デジタル音声出力	出力端子	光デジタル出力	：光コネクター
		端子数	：1 系統
		同軸デジタル出力	：ピンジャック
		端子数	：2 系統



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

- 本製品のデザイン、仕様は改善等のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。

本機は日本国内専用です。
外国では、放送方法、電源電圧が異なるため使用できません。

愛情点検　長年ご使用の DVD/CD プレーヤーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- ディスクが傷ついたり、取り出しができない
- 本体やテレビ画面の表示が出ない
- その他の異常や故障がある

以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い上げの販売店に点検をご相談ください。

- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	**品　番**	DVD-H1000
販売店名	☎（　）　－	**お客様ご相談窓口**	☎（　）　－

松下電器産業株式会社　光ディスク事業部

〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）1998
Printed in Japan

F1198M2109　VQT7721-2